

第33回

大阪市債権回収対策会議

別 冊 資 料

【令和8年8月31日開催】

議題 1 令和 7 年度決算見込における未収債権の状況について

1 令和 7 年度決算見込における未収金の状況及び目標達成の状況

(1) 未収金残高の推移等

ア 未収金残高目標との比較主要債権別一覧 P3

イ 未収金残高目標との比較その他主要債権別一覧 P4

ウ 未収金残高目標との比較所属別一覧 P5

(2) 主要債権別の状況（令和 7 年度決算見込）

ア 令和 7 年度決算見込主要債権別の状況一覧 P6

イ 令和 7 年度決算見込所属別の状況一覧 P7

(3) 過年度未収金の解消に向けた方向性

ア 令和 6 年度決算時未収金残高（357億円）の徴収・整理状況グラフ P8

イ 令和 7 年度決算見込時未収金残高（過年度分234億円）の取組状況グラフ P9

注 本資料の計数に係る留意事項

- ・▲は減少額もしくは達成額を示しています。
- ・計数は、それぞれ四捨五入を行っているため、端数処理の関係上、合計と内訳等が一致しない場合があります。
- ・内訳の割合(%)は、千円単位で計算しているため、表内の計算で一致しない場合があります。

1 令和7年度決算見込における未収金の状況及び目標達成の状況

(1) 未収金残高の推移等

ア 未収金残高目標との比較主要債権別一覧

(単位:千円)

債権名	所属	令和6年度末 未収金残高	令和7年度末 未収金残高目標	令和7年度末 未収金残高見込	令和6年度末～ 令和7年度末 削減額	目標額との比較
		A	B	C	C-A	C-B
国民健康保険料	福祉局	11,467,587	11,251,577	12,009,867	542,280	758,290
市税	財政局	8,281,126	8,200,692	8,815,355	534,229	614,663
生活保護費返還金	福祉局	8,477,630	8,378,699	8,288,861	▲ 188,769	▲ 89,838
介護保険料	福祉局	1,398,817	1,398,772	1,456,967	58,150	58,195
住宅使用料	都市整備局	383,726	377,046	399,183	15,457	22,137
保育所保育料	こども青少年局	137,326	116,247	120,425	▲ 16,901	4,178
その他債権	—	5,564,969	4,507,633	5,489,838	▲ 75,131	982,205
合計	—	35,711,181	34,230,666	36,580,496	869,315	2,349,830

【内 訳】

一般会計	20,566,002	19,621,775	20,875,452	309,450	1,253,677
特別会計	15,145,179	14,608,891	15,705,044	559,865	1,096,153

▲は減少額もしくは達成額

イ 未収金残高目標との比較その他主要債権別一覧

(単位:千円)

債権名	所属	令和6年度末 未収金残高 A	令和7年度末 未収金残高目標 B	令和7年度末 未収金残高見込 C	令和6年度末～ 令和7年度末 削減額 C-A	目標額との比較 C-B
後期高齢者医療保険料	福祉局	510,592	493,477	571,219	60,627	77,742
生活保護法指定医療機関等返還金		457,630	90,474	459,685	2,055	369,211
国民健康保険料(不現住)		148,231	170,893	145,236	▲ 2,995	▲ 25,657
国民健康保険給付費返還金		395,891	243,217	388,354	▲ 7,537	145,137
介護保険給付費不正・不当利得返還金及び加算金		201,654	128,007	152,963	▲ 48,691	24,956
大学奨学費貸付金返還金収入		29,348	27,409	27,757	▲ 1,591	348
居宅介護給付費返還金(居宅生活支援費返還金)		63,044	62,324	101,314	38,270	38,990
土地賃貸料	契約管財局	56,381	55,171	57,184	803	2,013
母子父子寡婦福祉貸付金	こども青少年局	573,391	561,717	556,196	▲ 17,195	▲ 5,521
児童扶養手当返還金		194,568	190,485	184,256	▲ 10,312	▲ 6,229
児童福祉施設徴収金		109,616	108,890	115,624	6,008	6,734
霊園手数料	環境局	11,953	11,785	10,755	▲ 1,198	▲ 1,030
不正入居等損害金(市営住宅)	都市整備局	973,761	945,633	975,402	1,641	29,769
下水道使用料	建設局	171,407	165,874	157,612	▲ 13,795	▲ 8,262
土地賃貸料(一般会計)	大阪港湾局	136,501	133,425	135,953	▲ 548	2,528
土地賃貸料相当損害金等		76,754	76,525	76,587	▲ 167	62
給水料	水道局	133,593	113,735	131,418	▲ 2,175	17,683
学校給食費	教育委員会事務局	89,684	81,254	83,262	▲ 6,422	2,008
高等学校等奨学金貸付金返還金		37,794	31,609	34,365	▲ 3,429	2,756

▲は減少額もしくは達成額

ウ 未収金残高目標との比較所属別一覧

(単位:千円)

所 属	令和6年度末 未収金残高	令和7年度末 未収金残高目標	令和7年度末 未収金残高見込	令和6年度末～ 令和7年度末 削減額	目標額との比較
	A	B	C	C-A	C-B
総 務 局	2,094	1,505	2,094	0	589
区 役 所	6,121	3,721	11,162	5,041	7,441
経 済 戦 略 局	98,488	89,932	100,123	1,635	10,191
中 央 卸 売 市 場	8,286	7,531	7,796	▲ 490	265
市 民 局	8,091	7,739	9,014	923	1,275
財 政 局	8,281,831	8,200,787	8,816,183	534,352	615,396
契 約 管 財 局	62,958	55,249	63,932	974	8,683
福 祉 局	23,803,173	22,662,949	24,210,931	407,758	1,547,982
健 康 局	5,657	1,549	5,590	▲ 67	4,041
こ ど も 青 少 年 局	1,163,770	1,099,326	1,117,811	▲ 45,959	18,485
環 境 局	16,941	15,117	15,514	▲ 1,427	397
都 市 整 備 局	1,398,793	1,362,909	1,416,873	18,080	53,964
建 設 局	254,015	179,185	217,230	▲ 36,785	38,045
大 阪 港 湾 局	252,737	236,577	247,223	▲ 5,514	10,646
消 防 局	589	272	941	352	669
水 道 局	156,367	134,374	161,325	4,958	26,951
教 育 委 員 会 事 務 局	191,270	171,944	176,754	▲ 14,516	4,810
合 計	35,711,181	34,230,666	36,580,496	869,315	2,349,830

▲は減少額もしくは達成額

(2) 主要債権別の状況（令和7年度決算見込）

ア 令和7年度決算見込主要債権別の状況一覧

(参考)

上段: 令和7年度

参考 下段(): 令和6年度

(単位: 千円)

	所属	令和7年度当初 未収金残高 【過年度分】 A	徴収済額 【過年度分】 B	不納欠損処分等※ 【過年度分】 C	未収金残高 【過年度分】 D=A-B-C	現年度賦課分 未収金 E	決算見込未収金計 F=D+E	削減額 G=F-A	削減率 H=G/A
国民健康保険料	福祉局	11,467,587 (10,034,907)	2,526,402 (2,229,473)	2,993,439 (2,486,258)	5,947,746 (5,319,176)	6,062,121 (6,148,411)	12,009,867 (11,467,587)	542,280 (1,432,680)	4.7% (14.3%)
市税	財政局	8,281,126 (8,898,620)	2,858,668 (2,936,703)	754,639 (1,178,424)	4,667,819 (4,783,493)	4,147,536 (3,497,633)	8,815,355 (8,281,126)	534,229 (▲ 617,494)	6.5% (▲ 6.9%)
生活保護費返還金	福祉局	8,477,630 (8,711,696)	324,837 (318,646)	847,660 (605,930)	7,305,133 (7,787,120)	983,728 (690,510)	8,288,861 (8,477,630)	▲ 188,769 (▲ 234,066)	▲ 2.2% (▲ 2.7%)
介護保険料	福祉局	1,398,817 (1,344,664)	266,511 (229,974)	395,964 (435,289)	736,342 (679,401)	720,625 (719,416)	1,456,967 (1,398,817)	58,150 (54,153)	4.2% (4.0%)
住宅使用料	都市 整備局	383,726 (368,780)	128,905 (119,371)	16,571 (16,226)	238,250 (233,183)	160,933 (150,543)	399,183 (383,726)	15,457 (14,946)	4.0% (4.1%)
保育所保育料	こども 青少年局	137,326 (192,681)	65,135 (99,889)	7,593 (16,466)	64,598 (76,326)	55,827 (61,000)	120,425 (137,326)	▲ 16,901 (▲ 55,355)	▲ 12.3% (▲ 28.7%)
その他の債権	—	5,564,969 (5,632,523)	781,173 (603,314)	325,866 (568,207)	4,457,930 (4,461,002)	1,031,908 (1,103,967)	5,489,838 (5,564,969)	▲ 75,131 (▲ 67,554)	▲ 1.4% (▲ 1.2%)
合計	—	35,711,181 (35,183,871)	6,951,631 (6,537,370)	5,341,732 (5,306,800)	23,417,818 (23,339,701)	13,162,678 (12,371,480)	36,580,496 (35,711,181)	869,315 (527,310)	2.4% (1.5%)
【内訳】									
一般会計	—	20,566,002 (21,552,485)	3,562,599 (3,632,004)	1,745,189 (2,037,315)	15,258,214 (15,883,166)	5,617,238 (4,682,836)	20,875,452 (20,566,002)	309,450 (▲ 986,483)	1.5% (▲ 4.6%)
特別会計 ※公営会計含む	—	15,145,179 (13,631,386)	3,389,032 (2,905,366)	3,596,543 (3,269,485)	8,159,604 (7,456,535)	7,545,440 (7,688,644)	15,705,044 (15,145,179)	559,865 (1,513,793)	3.7% (11.1%)

▲は減少額もしくは減少率

※ 不納欠損処分等…不納欠損処分及び調定変更による増減の額

イ 令和7年度決算見込所属別の状況一覧

(参考)

上段: 令和7年度
参考 下段(): 令和6年度

(単位: 千円)

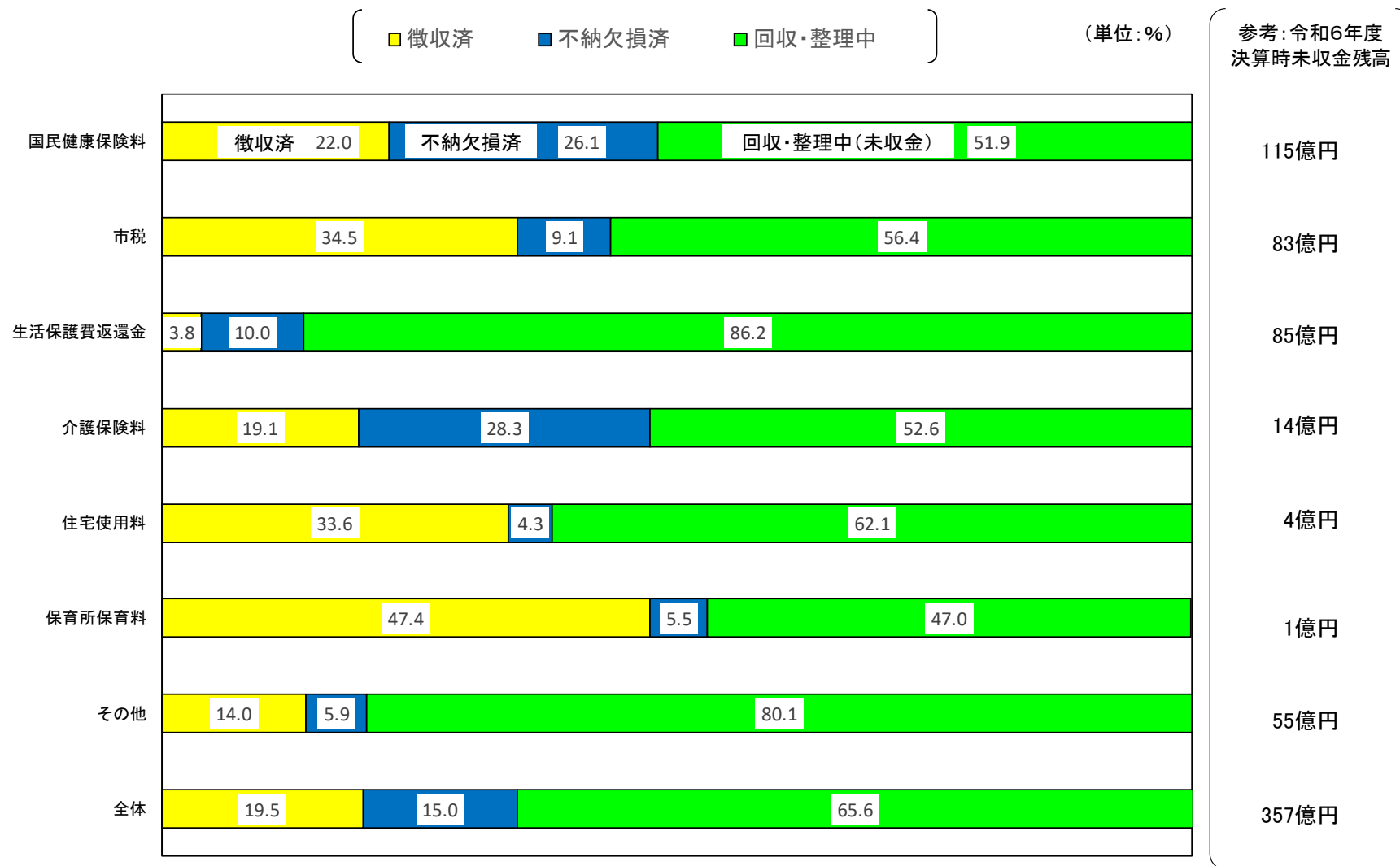
所 属	令和7年度当初 未収金残高 【過年度分】 A	徴収済額 【過年度分】 B	不納欠損処分等※ 【過年度分】 C	未収金残高 【過年度分】 D=A-B-C	現年度賦課分 未収金 E	決算見込未収金計 F=D+E	削減額 G=F-A	削減率 H=G/A
総 務 局	2,094 (2,174)	0 (80)	0 (0)	2,094 (2,094)	0 (0)	2,094 (2,094)	0 (▲ 80)	0.0% (▲ 3.7%)
区 役 所	6,121 (3,517)	23 (699)	660 (0)	5,438 (2,818)	5,724 (3,303)	11,162 (6,121)	5,041 (2,604)	82.4% (74.0%)
経 済 戦 略 局	98,488 (103,383)	1,510 (9,348)	175 (1)	96,803 (94,034)	3,320 (4,454)	100,123 (98,488)	1,635 (▲ 4,895)	1.7% (▲ 4.7%)
中 央 卸 売 市 場	8,286 (7,318)	2,325 (475)	23 (485)	5,938 (6,358)	1,858 (1,928)	7,796 (8,286)	▲ 490 (968)	▲ 5.9% (13.2%)
市 民 局	8,091 (6,163)	256 (709)	150 (211)	7,685 (5,243)	1,329 (2,848)	9,014 (8,091)	923 (1,928)	11.4% (31.3%)
財 政 局	8,281,831 (8,899,084)	2,858,923 (2,936,710)	754,718 (1,178,576)	4,668,190 (4,783,798)	4,147,993 (3,498,033)	8,816,183 (8,281,831)	534,352 (▲ 617,253)	6.5% (▲ 6.9%)
契 約 管 財 局	62,958 (77,631)	10,152 (19,021)	0 (5,885)	52,806 (52,725)	11,126 (10,233)	63,932 (62,958)	974 (▲ 14,673)	1.5% (▲ 18.9%)
福 祉 局	23,803,173 (22,505,231)	3,524,463 (3,043,189)	4,478,627 (3,895,163)	15,800,083 (15,566,879)	8,410,848 (8,236,294)	24,210,931 (23,803,173)	407,758 (1,297,942)	1.7% (5.8%)
健 康 局	5,657 (1,014)	177 (84)	1 (▲ 111)	5,479 (1,041)	111 (4,616)	5,590 (5,657)	▲ 67 (4,643)	▲ 1.2% (457.9%)
こ ど も 青 少 年 局	1,163,770 (1,209,209)	154,985 (166,376)	29,073 (40,284)	979,712 (1,002,549)	138,099 (161,221)	1,117,811 (1,163,770)	▲ 45,959 (▲ 45,439)	▲ 3.9% (▲ 3.8%)
環 境 局	16,941 (16,606)	5,198 (3,546)	708 (1,225)	11,035 (11,835)	4,479 (5,106)	15,514 (16,941)	▲ 1,427 (335)	▲ 8.4% (2.0%)
都 市 整 備 局	1,398,793 (1,372,720)	150,422 (144,263)	52,447 (38,605)	1,195,924 (1,189,852)	220,949 (208,941)	1,416,873 (1,398,793)	18,080 (26,073)	1.3% (1.9%)
建 設 局	254,015 (281,242)	144,411 (148,695)	11,021 (9,707)	98,583 (122,840)	118,647 (131,175)	217,230 (254,015)	▲ 36,785 (▲ 27,227)	▲ 14.5% (▲ 9.7%)
大 阪 港 湾 局	252,737 (254,247)	15,779 (3,433)	781 (10,987)	236,177 (239,827)	11,046 (12,910)	247,223 (252,737)	▲ 5,514 (▲ 1,510)	▲ 2.2% (▲ 0.6%)
消 防 局	589 (492)	0 (0)	0 (0)	589 (492)	352 (97)	941 (589)	352 (97)	59.8% (19.7%)
水 道 局	156,367 (243,370)	70,645 (50,345)	8,776 (121,668)	76,946 (71,357)	84,379 (85,010)	161,325 (156,367)	4,958 (▲ 87,003)	3.2% (▲ 35.7%)
教 育 委 員 会 事 務 局	191,270 (200,470)	12,362 (10,397)	4,572 (4,114)	174,336 (185,959)	2,418 (5,311)	176,754 (191,270)	▲ 14,516 (▲ 9,200)	▲ 7.6% (▲ 4.6%)
合 計	35,711,181 (35,183,871)	6,951,631 (6,537,370)	5,341,732 (5,306,800)	23,417,818 (23,339,701)	13,162,678 (12,371,480)	36,580,496 (35,711,181)	869,315 (527,310)	2.4% (1.5%)

▲は減少額もしくは減少率

※ 不納欠損処分等…不納欠損処分及び調定変更による増減の額

(3) 過年度未収金の解消に向けた方向性

ア 令和6年度決算時未収金残高(357億円)の徴収・整理状況グラフ



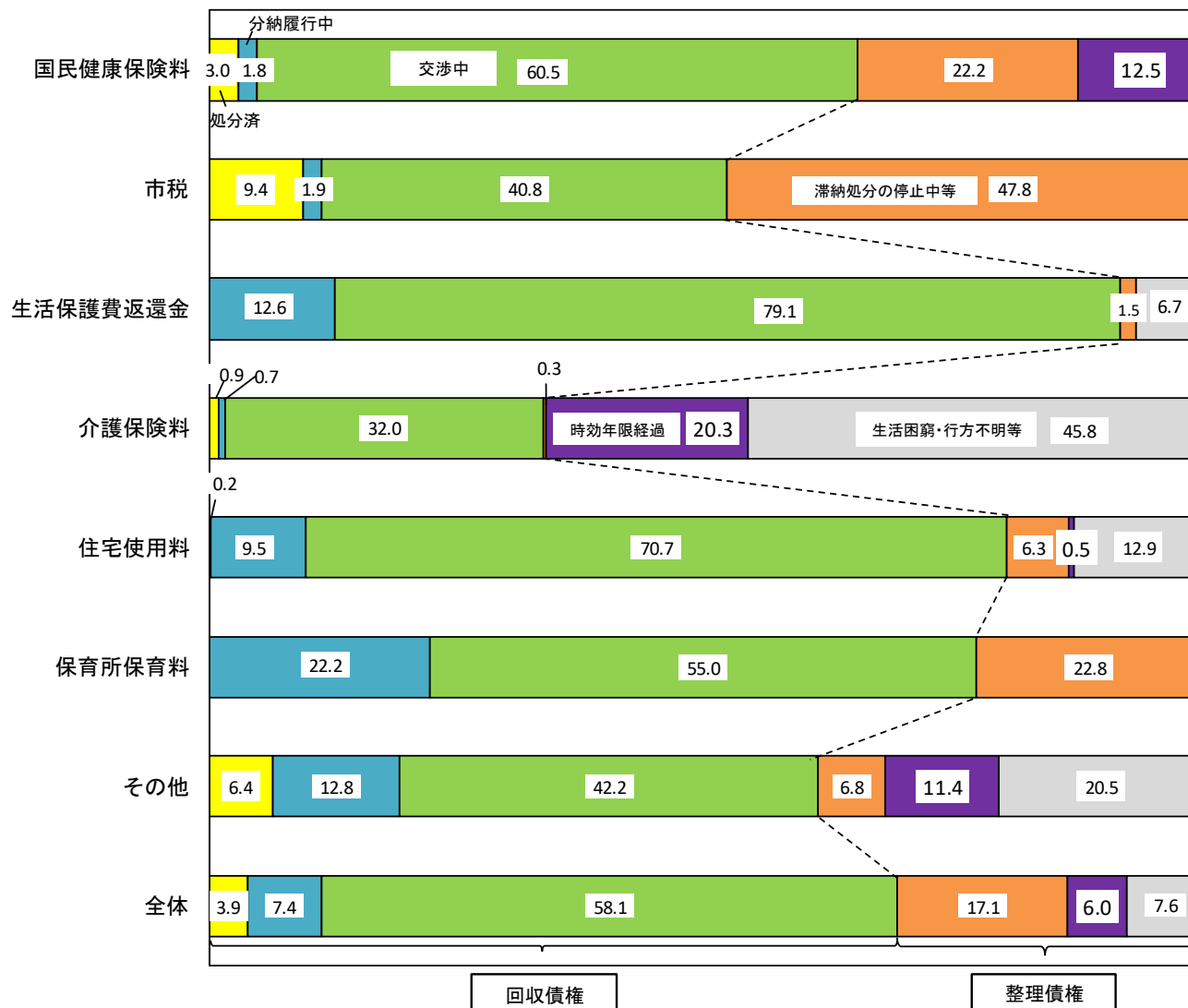
イ 令和7年度決算見込時未収金残高(過年度分234億円)の取組状況グラフ

回収債権

整理債権

〔 処分済み 分納履行中 交渉中 滞納処分の停止等 時効年限経過 生活困窮・行方不明等 〕

(単位: %)



参考: 令和7年度決算
見込時未収金残高
(過年度分)

59億円

47億円

73億円

7億円

2億円

1億円

45億円

234億円

回収債権

整理債権

議題 2 令和 8 年度目標の設定等について

2 未収金残高目標

- (1) 令和 8 年度未収金残高目標主要債権別一覧 P11
- (2) 令和 8 年度未収金残高目標その他主要債権別一覧 P12
- (3) 令和 8 年度未収金残高目標所属別一覧 P13

2 未収金残高目標

(1) 令和8年度未収金残高目標主要債権別一覧

(単位:千円)

債権名	所属	令和6年度末 未収金残高	令和7年度末 未収金残高見込	令和8年度末 未収金残高目標	令和9年度末 未収金残高 (計画)	(参考)令和8年度末 未収金残高 (当初計画)
国民健康保険料	福祉局	11,467,587	12,009,867	11,254,734	7,684,715	8,065,986
市 税	財政局	8,281,126	8,815,355	8,499,745	6,978,170	7,665,899
生活保護費返還金	福祉局	8,477,630	8,288,861	8,176,250	8,303,807	8,495,114
介護保険料	福祉局	1,398,817	1,456,967	1,447,679	1,366,739	1,376,173
住宅使用料	都市整備局	383,726	399,183	389,365	359,309	360,193
保育所保育料	こども青少年局	137,326	120,425	84,408	85,954	112,896
その他債権	—	5,564,969	5,489,838	4,463,041	4,039,357	4,145,568
合 計	—	35,711,181	36,580,496	34,315,222	28,818,051	30,221,829

【 内 訳 】

一 般 会 計	20,566,002	20,875,452	19,666,971	18,096,751	19,048,648
特 別 会 計	15,145,179	15,705,044	14,648,251	10,721,300	11,173,181

(2) 令和8年度未収金残高目標その他主要債権別一覧

(単位:千円)

債権名	所属	令和6年度末 未収金残高	令和7年度末 未収金残高見込	令和8年度末 未収金残高目標	令和9年度末 未収金残高 (計画)	(参考) 令和8年度末 未収金残高 (当初計画)
後期高齢者医療保険料	福祉局	510,592	571,219	555,425	400,532	400,911
生活保護法指定 医療機関等返還金		457,630	459,685	93,194	79,574	83,141
国民健康保険料(不現住)		148,231	145,236	168,326	172,888	176,878
国民健康保険給付費 返還金		395,891	388,354	239,516	216,366	228,753
介護保険給付費不正・不当利得 返還金及び加算金		201,654	152,963	101,840	48,866	59,917
大学奨学費貸付金 返還金		29,348	27,757	28,544	26,682	26,729
居宅介護給付費返還金 (居宅生活支援費返還金)		63,044	101,314	96,874	33,313	34,033
土地賃貸料	契約管財局	56,381	57,184	55,357	61,673	65,409
母子父子寡婦福祉貸付金	こども青少年局	573,391	556,196	544,301	529,987	543,049
児童扶養手当返還金		194,568	184,256	178,853	182,050	183,286
児童福祉施設徴収金		109,616	115,624	114,129	93,945	94,209
霊園手数料	環境局	11,953	10,755	11,383	11,780	12,321
不正入居等損害金 (市営住宅)	都市整備局	973,761	975,402	972,445	930,073	936,858
下水道使用料	建設局	171,407	157,612	166,992	167,638	171,098
土地賃貸料 (一般会計)	大阪港湾局	136,501	135,953	134,359	133,141	133,374
土地賃貸料相当損害金等		76,754	76,587	76,526	76,437	76,437
給水料	水道局	133,593	131,418	115,357	99,177	100,413
学校給食費	教育委員会 事務局	89,684	83,262	40,399	51,625	59,820
高等学校等奨学金 貸付金返還金		37,794	34,365	30,218	24,611	25,265

(3) 令和8年度未収金残高目標所属別一覧

(単位:千円)

所 属	令和6年度末 未収金残高	令和7年度末 未収金残高見込	令和8年度末 未収金残高目標	令和9年度末 未収金残高 (計画)	(参考)令和8年度末 未収金残高 (当初計画)
総 務 局	2,094	2,094	1,505	1,668	1,791
区 役 所	6,121	11,162	3,761	36	36
経 済 戦 略 局	98,488	100,123	92,256	90,300	92,903
中 央 卸 売 市 場	8,286	7,796	6,678	3,978	4,380
市 民 局	8,091	9,014	8,536	3,613	3,780
財 政 局	8,281,831	8,816,183	8,499,930	6,978,170	7,665,900
契 約 管 財 局	62,958	63,932	55,435	61,673	65,409
福 祉 局	23,803,173	24,210,931	22,530,225	18,737,837	19,370,168
健 康 局	5,657	5,590	1,621	919	922
こ ど も 青 少 年 局	1,163,770	1,117,811	1,044,405	971,439	1,016,209
環 境 局	16,941	15,514	14,607	14,252	14,817
都 市 整 備 局	1,398,793	1,416,873	1,401,440	1,328,055	1,339,299
建 設 局	254,015	217,230	173,016	172,658	177,222
大 阪 港 湾 局	252,737	247,223	219,013	214,777	217,241
消 防 局	589	941	624	152	212
水 道 局	156,367	161,325	134,877	113,691	115,424
教 育 委 員 会 事 務 局	191,270	176,754	127,293	124,833	136,116
合 計	35,711,181	36,580,496	34,315,222	28,818,051	30,221,829

議題 3 目標達成のための重点取組事項などについて

6 主な債権における未収金残高目標及び具体取組内容など

(3) その他主要債権の未収金目標及び具体取組内容

ア 福祉局

- ・後期高齢者医療保険料 P15
- ・生活保護法指定医療機関等返還金 P16
- ・国民健康保険料（不現住） P17
- ・国民健康保険給付費返還金 P18
- ・介護保険給付費不正・不当利得返還金及び加算金 P19
- ・大学奨学費貸付金返還金収入 P20
- ・居宅介護給付費返還金（居宅生活支援費返還金） P21

イ 契約管財局

- ・土地賃貸料 P22

ウ こども青少年局

- ・母子父子寡婦福祉貸付金 P23
- ・児童扶養手当返還金 P24
- ・児童福祉施設徴収金 P25

エ 環境局

- ・霊園手数料 P26

オ 都市整備局

- ・不正入居等損害金（市営住宅） P27

カ 建設局

- ・下水道使用料 P28

キ 大阪港湾局

- ・土地賃貸料（一般会計） P29
- ・土地賃貸料相当損害金等 P30

ク 水道局

- ・給水料 P31

ケ 教育委員会事務局

- ・学校給食費 P32
- ・高等学校等奨学金貸付金返還金 P33

未収金目標及び具体取組内容調書

所属	福祉局	担当・事業所名	生活福祉部保険年金課(収納G)	債権整理番号(3ケタ)	036	債権区分	強制徴収公債権	債権名	後期高齢者医療保険料
----	-----	---------	-----------------	-------------	-----	------	---------	-----	------------

1. 令和7年度の目標（＝未収金残高目標）の達成状況 … いずれかの記号を入力

過年度	B1	現年度	B1	合計(過年度＋現年度)	B1	「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず目標も未達、「－」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定
-----	----	-----	----	-------------	----	---

2. 未収金の推移（実績及び目標） … 色付け箇所のみ、百四単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)

	過年度分									現年度分							合計		
	前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
	ア ＝前年度ケ"	イ ＝ア－ウ ▲＝増加を表す)	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ＋ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ－(エ＋オ)	ウ'	エ'	オ'	カ' ＝エ'＋オ'	キ' ＝エ'÷ウ'	ク' ＝カ'÷ウ'	ケ' ＝ウ'－ (エ'＋オ')	キ" ＝(エ＋エ') ÷(ウ＋ウ')	ク" ＝(カ＋カ') ÷(ア＋ウ')	ケ" ＝ケ＋ケ'
A 令和6年度 当初目標	425,358	0	425,358	152,278	97,895	250,173	35.8%	58.8%	175,189	29,184,498	28,951,022	0	28,951,022	99.2%	99.2%	233,476	98.3%	98.6%	408,661
B 令和6年度 修正目標	456,553	1,761	454,792	179,188	98,337	279,286	39.4%	61.2%	177,267	31,736,210	31,482,320	0	31,482,320	99.2%	99.2%	253,890	98.4%	98.7%	431,157
C 令和6年度 実績	456,553	948	455,605	163,408	82,489	246,845	35.9%	54.1%	209,708	31,396,759	31,095,875	0	31,095,875	99.0%	99.0%	300,884	98.1%	98.4%	510,592
D 令和7年度 計画※	408,661	0	408,661	146,301	97,944	244,245	35.8%	59.8%	164,416	29,709,819	29,472,140	0	29,472,140	99.2%	99.2%	237,679	98.3%	98.7%	402,095
E 令和7年度 目標	510,592	913	509,679	200,814	83,507	285,234	39.4%	55.9%	225,358	33,514,827	33,246,708	0	33,246,708	99.2%	99.2%	268,119	98.3%	98.5%	493,477
F 令和7年度 実績	510,592	1,064	509,528	186,396	87,187	274,647	36.6%	53.8%	235,945	33,565,328	33,230,054	0	33,230,054	99.0%	99.0%	335,274	98.1%	98.3%	571,219
G 令和8年度 計画※	402,095	0	402,095	143,950	97,052	241,002	35.8%	59.9%	161,093	29,977,207	29,737,389	0	29,737,389	99.2%	99.2%	239,818	98.4%	98.7%	400,911
H 令和8年度 目標	571,219	1,080	570,139	224,635	84,843	310,558	39.4%	54.4%	260,661	36,845,514	36,550,750	0	36,550,750	99.2%	99.2%	294,764	98.3%	98.5%	555,425
I 令和9年度 計画※	400,911	0	400,911	143,526	97,630	241,156	35.8%	60.2%	159,759	30,097,116	29,856,339	0	29,856,339	99.2%	99.2%	240,777	98.4%	98.7%	400,532

※「新・市政改革プラン」の期間(令和6～9年度)に合わせて設定した「中期目標」の達成に向けて、各所属で策定した年度毎の計画

3. 令和7年度の実績・課題・改善策など

令和7年度の実績
・口座加入率 R7 61.4% ※前年58.0% 年間振替割合(振替期数/請求期数)R7 97.73% ※97.67% (徴収実績) (預金)278件 28,716千円 ※前年177件 12,316千円 (年金)299件 18,603千円 ※前年182件 11,916千円 (給与)2件 429千円 ※前年なし (滞納処分)の停止)177件 6,444千円 (人材育成のための研修の実施状況) 4月(初任者研修※会計年度職員)(新任課長研修)、5月(初任者研修※係長・係員)、8月(未収金削減に向けた課長級研修会) 9月(滞納処分研修※ベシツク)、10月(滞納処分研修※プロGRESS)、3月(滞納処分研修※レベルアップ) (未収金総額の状況)571,219千円 (収納率の状況) 現年度 R7(99.00%)※R6(99.04%) 滞納繰越 R7(36.39%)※R6(35.63%)
課題と改善策
【課題】 ・普通徴収の増加※特徴調定の減少による 初期未納の発生要因の増加。 ※特徴調定(13,537,600千円):普通徴収(19,851,604千円)≒4:6 ・滞納整理実務を担う職員の人材育成 ・累積滞納事業に対する 対策 【改善策】 ・口座振替の勧奨やコールセンターを活用した電話による 納付勧奨、区による 催告書の送付などの 初期未納対策の徹底。 ・福祉局主催による 滞納処分研修の実施。 ・福祉局および市債権回収対策室による、預金・年金・給与・生命保険の財産調査や滞納処分の実施。 ・財産状況が不良で徴収困難な事業の滞納処分の停止。

4. 令和8年度の実績・課題・改善策など

未収金の解消に向けた取組
・福祉局主催による 滞納処分研修の実施。 ・福祉局および市債権回収対策室による、預金・年金・給与・生命保険にかかる 財産調査や滞納処分の実施。 ・財産状況が不良で徴収困難な事業の滞納処分の停止。
未収金の発生抑制に向けた取組
・口座振替の勧奨やコールセンターを活用した電話による 納付勧奨、区による 催告の強化など、初期未納対策の徹底。 ・福祉局主催による 初任者研修(納付勧奨、徴収職員の心構え)の実施。

未収金目標及び具体取組内容調査

所属	福祉局	担当・事業所名	生活福祉部保護課医療G	債権整理番号(3ケタ)	017	債権区分	非強制徴収公債権	債権名	生活保護法指定医療機関等返還金
----	-----	---------	-------------	-------------	-----	------	----------	-----	-----------------

1. 令和7年度の目標（＝未収金残高目標）の達成状況 … いずれかの記号を入力

過年度	B1	現年度	B1	合計(過年度＋現年度)	B1	「A」…目標達成、「B1」…取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」…取組みを予定通り実施できず目標も未達、「－」…当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定
-----	----	-----	----	-------------	----	---

2. 未収金の推移（実績及び目標） … 色付け箇所のみ、百四単位を四捨五入した、千四単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)

	過年度分									現年度分						合計				
	前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高	
	ア ＝前年度ケ	イ ＝ア－ウ ▲＝増加を表す	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ＋ウ	ク ＝カ＋ア	ケ ＝ウ－(エ＋オ)	ウ'	エ'	オ'	カ' ＝エ'＋オ'	キ' ＝エ'＋ウ'	ク' ＝カ'＋ウ'	ケ' ＝ウ'－ (エ'＋オ')	キ'' ＝(エ＋エ') ÷(ウ＋ウ')	ク'' ＝(カ＋カ') ÷(ア＋ウ')	ケ'' ＝ケ＋ケ'	
A	令和6年度 当初目標	458,669	0	458,669	4,310	362,670	366,980	0.9%	80.0%	91,689	486	462	0	462	95.1%	95.1%	24	1.0%	80.0%	91,713
B	令和6年度 修正目標	458,254	0	458,254	4,310	362,697	367,007	0.9%	80.1%	91,247	486	462	0	462	95.1%	95.1%	24	1.0%	80.1%	91,271
C	令和6年度 実績	458,254	0	458,254	2,047	26	2,073	0.4%	0.5%	456,181	25,450	24,001	0	24,001	94.3%	94.3%	1,449	5.4%	5.4%	457,630
D	令和7年度 計画※	91,713	0	91,713	4,310	0	4,310	4.7%	4.7%	87,403	486	462	0	462	95.1%	95.1%	24	5.2%	5.2%	87,427
E	令和7年度 目標	457,630	0	457,630	4,510	362,670	367,180	1.0%	80.2%	90,450	486	462	0	462	95.1%	95.1%	24	1.1%	80.3%	90,474
F	令和7年度 実績	457,630	0	457,630	4,041	0	4,041	0.9%	0.9%	453,589	13,479	7,383	0	7,383	54.8%	54.8%	6,096	2.4%	2.4%	459,685
G	令和8年度 計画※	87,427	0	87,427	4,310	0	4,310	4.9%	4.9%	83,117	486	462	0	462	95.1%	95.1%	24	5.4%	5.4%	83,141
H	令和8年度 目標	459,685	0	459,685	3,845	362,670	366,515	0.8%	79.7%	93,170	486	462	0	462	95.1%	95.1%	24	0.9%	79.7%	93,194
I	令和9年度 計画※	83,141	0	83,141	3,591	0	3,591	4.3%	4.3%	79,550	486	462	0	462	95.1%	95.1%	24	4.8%	4.8%	79,574

※「新・市政改革プラン」の期間(令和6～9年度)に合わせて設定した「中期目標」の達成に向けて、各所属で策定した年度毎の計画

3. 令和7年度の実績・課題・改善策など

令和7年度の実績
・【過年度分】 ・債権が高額かつ経営難により分割納付が長期化している債権について、年間返還額の見直し協議等を行うなど、長期化を極力防ぐことによる未収額の圧縮に務めた。 ・行方不明の法人代表者の居所調査を行い、居所が判明した。 【現年度分】 ・返還金発生事案確認後、対象医療機関等に対して速やかに返還請求を行うと同時に納付指導を実施した。
課題と改善策
【課題】 ・債権が高額かつ経営難により分割納付が長期化している債権は、経営が上向きになり、かつその状態が安定しない限りは協議を行ったとしてもその協議内容を実行させることが困難である。 【改善策】 ・経営が上向きになり、かつその状態が安定するような事業計画書の作成を促し、年間返還額の見直し協議等で未収額の圧縮に努める。 ・随時、顧問弁護士への法律相談及び市債権回収対策室のアドバイザーへの相談等を活用し、また、本市多制度債権の債務者である場合は、多制度担当と連携し、また場合によっては自治体とも連携して有効な請求方法などの検討を行う。 ・

4. 令和8年度の実績・課題・改善策など

未収金の解消に向けた取組
・返還金発生事案確認後、対象医療機関等に対して速やかに返還請求を行うと同時に納付指導を実施する。 ・やむなく延滞が発生した場合は、30日以内に督促状を発出するとともに、電話連絡等のうえ速やかに納付督促を行い、また所内への呼び出しや当該医療機関への訪問等による状況聴取や再協議等を積極的にを行い、未収の長期化を未然に防ぐ。 ・随時、顧問弁護士への法律相談及び市債権回収対策室のアドバイザーへの相談等を活用し、また、本市多制度債権の債務者である場合は、多制度担当と連携し、また場合によっては自治体とも連携して有効な請求方法などの検討を行う。
未収金の発生抑制に向けた取組
・返還金が発生しないよう、一般指導として、適切な診療及び診療報酬請求が行われるよう、個別指導で確認された過誤請求等について周知を行う。 ・診療報酬請求に疑義がある医療機関については、個別指導を実施し、今後、返還請求が発生するような診療及び診療報酬請求を行うことがないよう、指導を行う。

未収金目標及び具体取組内容調査

所属	福祉局	担当・事業所名	保険年金課(収納)	債権整理番号(3ケタ)	027	債権区分	強制徴収公債権	債権名	国民健康保険料(不現住)
----	-----	---------	-----------	-------------	-----	------	---------	-----	--------------

1. 令和7年度の目標(＝未収金残高目標)の達成状況 … いずれかの記号を入力

過年度	A	現年度	A	合計(過年度＋現年度)	A	「A」…目標達成、「B1」…取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」…取組みを予定通り実施できず目標も未達、「－」…当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定
-----	---	-----	---	-------------	---	---

2. 未収金の推移(実績及び目標) … 色付け箇所のみ、百四単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

過年度分										現年度分							合計		
前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高		調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
ア ＝前年度ケ [＊]	イ ＝ア－ウ ▲＝増加を表す	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ＋ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ÷(エ＋オ)		ウ [＊]	エ [＊]	オ [＊]	カ [＊] ＝エ [＊] ＋オ [＊]	キ [＊] ＝エ [＊] ÷ウ [＊]	ク [＊] ＝カ [＊] ÷ウ [＊]	ケ [＊] ＝ウ [＊] ÷ (エ [＊] ＋オ [＊])	キ [＊] ＝(エ＋エ [＊]) ÷(ウ＋ウ [＊])	ク [＊] ＝(カ＋カ [＊]) ÷(ア＋ウ [＊])	ケ [＊] ＝ケ＋ケ [＊]
A 令和6年度 当初目標	195,369	41,567	153,802	0	64,374	105,941	0.0%	54.2%	89,428	92,993	0	0	0	0.0%	0.0%	92,993	0.0%	36.7%	182,421
B 令和6年度 修正目標	143,769	2,228	141,541	0	43,030	45,258	0.0%	31.5%	96,511	77,644	0	0	0	0.0%	0.0%	77,644	0.0%	20.4%	176,155
C 令和6年度 実績	143,769	13,162	130,607	0	46,344	59,506	0.0%	41.4%	84,263	63,968	0	0	0	0.0%	0.0%	63,968	0.0%	28.6%	148,231
D 令和7年度 計画※	182,421	32,669	149,752	0	60,108	92,777	0.0%	50.9%	89,644	92,993	0	0	0	0.0%	0.0%	92,993	0.0%	33.7%	182,637
E 令和7年度 目標	148,231	2,159	146,072	0	44,958	47,117	0.0%	31.8%	101,114	69,779	0	0	0	0.0%	0.0%	69,779	0.0%	21.6%	170,893
F 令和7年度 実績	148,231	15,895	132,336	0	50,124	66,019	0.0%	44.5%	82,212	63,024	0	0	0	0.0%	0.0%	63,024	0.0%	31.3%	145,236
G 令和8年度 計画※	182,637	38,573	144,064	0	60,179	98,752	0.0%	54.1%	83,885	92,993	0	0	0	0.0%	0.0%	92,993	0.0%	35.8%	176,878
H 令和8年度 目標	145,236	2,116	143,120	0	44,573	46,689	0.0%	32.1%	98,547	69,779	0	0	0	0.0%	0.0%	69,779	0.0%	21.7%	168,326
I 令和9年度 計画※	176,878	38,702	138,176	0	58,281	96,983	0.0%	54.8%	79,895	92,993	0	0	0	0.0%	0.0%	92,993	0.0%	35.9%	172,888

※「新・市政改革プラン」の期間(令和6～9年度)に合わせて設定した「中期目標」の達成に向けて、各所属で策定した年度毎の計画

3. 令和7年度の実績・課題・改善策など

令和7年度の実績実績
・保険料決定通知書等発送文書の返戻管理を徹底することにより、不現住世帯の早期発見に努めるとともに、所在不明かつ連絡不能である被保険者については、住民基本台帳の担当と連携し、職権消除等を促した。 ・文書返戻世帯等について、国保等システムから出力される配信帳票や局にて作成した資料等に基づく居住確認調査等を区にて実施するとともに、局においてもその進捗管理に努めてきたところである。
課題と改善策
【課題】 ・所在判明に至らず、結果未収となっている世帯がある。 【改善策】 ・引き続き、保険料決定通知書等発送文書の返戻管理を徹底することにより、不現住世帯の早期発見に努めるとともに、所在不明かつ連絡不能である被保険者については、住民基本台帳の担当と連携し、職権消除等を促す。

4. 令和8年度の実績・課題・改善策など

未収金の解消に向けた取組
・保険料決定通知書等発送文書の返戻管理を徹底することにより、不現住世帯の早期発見に努めるとともに、所在不明かつ連絡不能である被保険者については、住民基本台帳の担当と連携し、職権消除等を促す。 ・文書返戻世帯等について、国保等システムから出力される配信帳票や局にて作成した資料等に基づく居住確認調査等を区にて実施するとともに、局においてもその進捗管理に努める。
未収金の発生抑制に向けた取組
・引き続き、保険料決定通知書等発送文書の返戻管理を徹底することにより、不現住世帯の早期発見に努めるとともに、所在不明かつ連絡不能である被保険者については、住民基本台帳の担当と連携し、職権消除等を促す。

未収金目標及び具体取組内容調査

所属	福祉局	担当・事業所名	保険年金課	債権整理番号(3ケタ)	029-030	債権区分	私債権	債権名	国民健康保険給付費返還金
----	-----	---------	-------	-------------	---------	------	-----	-----	--------------

1. 令和7年度の目標（＝未収金残高目標）の達成状況 … いずれかの記号を入力

過年度	B1	現年度	B1	合計(過年度＋現年度)	B1
-----	----	-----	----	-------------	----

「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず目標も未達、「－」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定

2. 未収金の推移（実績及び目標） … 色付け箇所のみ、百四単位を四捨五入した、千四単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)

		過年度分									現年度分							合計		
		前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	ウ'	エ'	オ'	カ'	キ'	ク'	ケ'	キ''	ク''	ケ''
		=前年度ケ [*]	=ア-ウ (▲=増加を表す)				=イ+エ+オ	=キ÷ウ	=カ÷ア	=ウ÷(エ+オ)				=エ'+オ'	=キ'÷ウ'	=カ'÷ウ'	=ウ'- (エ'+オ')	= (キ''+ク'') ÷(ウ'+ウ')	= (カ'+ク') ÷(ア+ウ')	=ケ'+ケ'
A	令和6年度 当初目標	375,339	0	375,339	68,511	139,671	208,182	18.3%	55.5%	167,157	450,000	365,850	0	365,850	81.3%	81.3%	84,150	52.6%	69.6%	251,307
B	令和6年度 修正目標	409,899	0	409,899	74,395	139,683	214,078	18.1%	52.2%	195,821	450,000	378,189	0	378,189	84.0%	84.0%	71,811	52.6%	68.9%	267,632
C	令和6年度 実績	409,899	4,904	404,995	67,231	57,080	129,215	16.6%	31.5%	280,684	507,487	392,280	0	392,280	77.3%	77.3%	115,207	50.4%	56.8%	395,891
D	令和7年度 計画※	251,307	0	251,307	67,203	23,571	90,774	26.7%	36.1%	160,533	427,500	347,558	0	347,558	81.3%	81.3%	79,942	61.1%	64.6%	240,475
E	令和7年度 目標	395,891	0	395,891	67,842	136,672	204,514	17.1%	51.7%	191,377	427,500	375,660	0	375,660	87.9%	87.9%	51,840	53.9%	70.5%	243,217
F	令和7年度 実績	395,891	2,393	393,498	88,891	28,953	120,237	22.6%	30.4%	275,654	456,520	343,820	0	343,820	75.3%	75.3%	112,700	50.9%	54.4%	388,354
G	令和8年度 計画※	240,475	0	240,475	65,020	22,647	87,667	27.0%	36.5%	152,808	406,125	330,180	0	330,180	81.3%	81.3%	75,945	61.1%	64.6%	228,753
H	令和8年度 目標	388,354	0	388,354	85,592	139,191	224,783	22.0%	57.9%	163,571	406,125	330,180	0	330,180	81.3%	81.3%	75,945	52.3%	69.9%	239,516
I	令和9年度 計画※	228,753	0	228,753	62,528	22,007	84,535	27.3%	37.0%	144,218	385,818	313,670	0	313,670	81.3%	81.3%	72,148	61.2%	64.8%	216,366

※「新・市政改革プラン」の期間(令和6～9年度)に合わせて設定した「中期目標」の達成に向けて、各所属で策定した年度毎の計画

3. 令和7年度の実績・課題・改善策など

令和7年度の実績	
【029国民健康保険給付費返還金】 ・配当通知により、手続きを行い充当した。 ・区間異動に伴う資格喪失で発生した返還金のうち、転出先の区で大阪市国保に再加入している世帯に係るものについては、保険給付対象となる処理を行った。 ・各区担当者への研修会を5月と11月に開催し、滞納者への早期接触、分納世帯との定期的接触や保険者間調整による確実な回収の案内等、未収金解消に向けた職員の意識向上を図った。研修内容を精査しつつ同様の取り組みを継続する。 ・保険者間調整が可能なものについては順次処理を行った。 ・本人が死亡し回収の見込みのない債権について、アドバイザー・弁護士等に相談のうえ、債権放棄を行った。 ・年に渡り連絡がつかなくなった滞納者に対し、インターネット情報及びこまめな所在調査を行い、時効更新のため債務承認をえた。	・長
【030国民健康保険給付費返還金(医療機関等不正分)】 ・所在調査を実施。 ・令和7年度は再生計画に基づく弁済の機会がなかった。 ・供託金の配当を受けた。 ・アドバイザー・弁護士等へ相談を行った。 ・長年に渡り連絡がつかなくなった滞納者に対し、インターネット情報及びこまめな所在調査を行い、時効更新のため債務承認をえた。	
課題と改善策	
【029国民健康保険給付費返還金】 【課題】 ・発生原因に、被保険者の資格喪失後受診に対する理解度が関係している。 ・重点的に取り組みを進めてきた中で徴収率はあがってきたが、少額の債権の処理について件数も多く対応に苦慮している。 ・医療機関等に対する返還金については、国及び府の指導及び監査の状況(本市は把握不可能)によって、毎年度返還金額が変わり、他の市町村にも債権がある場合は、通常複数年にわたる分納となる。 【改善策】 ・債務者に対し、債権発生の原因等を説明し、早期の納付に向け交渉を行い、滞納とならないようにする。 ・研修会を通じ、時効管理に関する説明を強調して行う。 ・研修会等を通じ、他区の取り組み状況を周知し、必要に応じ個別の相談、支援を行う。 ・医療機関等に対する返還金については、分割納付となった場合でも、確実な納付を維持できるように、また早期完納となるよう交渉していく。 【030国民健康保険給付費返還金(医療機関等不正分)】 【課題】 ・債務者が支払いに応じない、また連絡がない件について、法的措置の検討が必要。 【改善策】 ・引き続きアドバイザー・弁護士等への相談を行いながら対応を検討する。	・保険者間調整に

4. 令和8年度の実績・課題・改善策など … 「1. 令和7年度の実績・課題・改善策」及び「3. 令和7年度の実績・課題・改善策」の内容を踏まえて記載

未収金の解消に向けた取組	
【029国民健康保険給付費返還金】 ・配当通知があれば、債権に充当する。 ・区間異動に伴う資格喪失で発生した返還金のうち、転出先の区で大阪市国保に再加入している世帯に係るものについては、保険給付対象となる処理を行う。 ・滞納世帯との接触強化を図り、分割納付も含めて未収金の解消を図っていく。 ・死亡、行方不明等の滞納者については、所在調査や相続人調査を進め、徴収見込みのないもの等については、法令等に従い徴収停止等の措置や債権放棄ができるか検討を行う。 ・引き続き、各区担当者への研修会を実施し、債権管理についての理解を深め、早期接触により滞納者を生じないよう伝えていく。 ・保険者間調整が可能なものについては、確実な回収が見込めるため、積極的に実施して行くよう促す。 ・債務者が死亡し、相続人も相続放棄済の事実については、債権放棄を検討する。 【030国民健康保険給付費返還金(医療機関等不正分)】 ・再生計画に基づく配当があれば、債権に充当する。 ・時期を見て、他局と連携し、支払い督促を検討する。 ・法人解散が確認できれば、債権が消滅となり、不納欠損処理を行う。	
未収金の発生抑制に向けた取組	
【029国民健康保険給付費返還金】 ・債務者に対し、債権発生の原因等を説明し、早期の納付に向け交渉を行い、滞納とならないようにする。 ・研修会等を通じ、他区の取り組み状況を周知し、必要に応じ個別の相談、支援を行う。 ・医療機関等に対する返還金については、分割納付となった場合でも、確実な納付を維持できるように、また早期完納となるよう交渉していく。 【030国民健康保険給付費返還金(医療機関等不正分)】 ・大阪府より医療機関に対する返還金の通知受領後、相手方に速やかに連絡を取り、納付依頼を行ってから、納入通知を行うようにする。 ・納期限の確認を行い、納付の進捗管理をする。(未納の債権については、速やかに連絡をする。)	

未収金目標及び具体取組内容調査

所属	福祉局	担当・事業所名	介護保険課	債権整理番号(3ケタ)	066-076	債権区分	強制徴収公債権 非強制徴収公債権	債権名	介護保険給付費不正・不当利得返還金及び加算金
----	-----	---------	-------	-------------	---------	------	---------------------	-----	------------------------

1. 令和7年度の目標（＝未収金残高目標）の達成状況 … いずれかの記号を入力

過年度	B1	現年度	B1	合計(過年度＋現年度)	B1	「AJ」…目標達成、「B1」…取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」…取組みを予定通り実施できず目標も未達、「－」…当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定
-----	----	-----	----	-------------	----	--

2. 未収金の推移（実績及び目標） … 色付け箇所のみ、百四単位を四捨五入した、千四単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)

過年度分										現年度分							合計		
前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高		調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
ア ＝前年度ケ'	イ ＝ア－ウ (▲＝増加を表す)	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ÷(エ＋オ)		ウ'	エ'	オ'	カ' ＝エ'＋オ'	キ' ＝エ'÷ウ'	ク' ＝カ'÷ウ'	ケ' ＝ウ'÷ (エ'＋オ')	キ'' ＝(エ＋エ') ÷(ウ＋ウ')	ク'' ＝(カ＋カ') ÷(ア＋ウ')	ケ'' ＝ケ＋ケ'
A 令和6年度 当初目標	93.070	0	93.070	11.051	0	11.051	11.9%	11.9%	82.019	20.582	20.582	0	20.582	100.0%	100.0%	0	27.8%	27.8%	82.019
B 令和6年度 修正目標	120.827	1	120.826	5.720	2.532	8.253	4.7%	6.8%	112.574	39.943	39.943	0	39.943	100.0%	100.0%	0	28.4%	30.0%	112.574
C 令和6年度 実績	120.827	▲1	120.828	4.864	2.533	7.396	4.0%	6.1%	113.431	170.857	82.634	0	82.634	48.4%	48.4%	88.223	30.0%	30.9%	201.654
D 令和7年度 計画※	82.019	0	82.019	11.051	0	11.051	13.5%	13.5%	70.968	20.582	20.582	0	20.582	100.0%	100.0%	0	30.8%	30.8%	70.968
E 令和7年度 目標	201.654	1	201.653	73.646	0	73.647	36.5%	36.5%	128.007	170.857	170.857	0	170.857	100.0%	100.0%	0	65.6%	65.6%	128.007
F 令和7年度 実績	201.654	0	201.654	73.369	0	73.369	36.4%	36.4%	128.289	41.514	16.836	0	16.836	40.6%	40.6%	24.678	37.1%	37.1%	152.963
G 令和8年度 計画※	70.968	0	70.968	11.051	0	11.051	15.6%	15.6%	59.917	20.582	20.582	0	20.582	100.0%	100.0%	0	34.6%	34.6%	59.917
H 令和8年度 目標	152.963	0	152.963	26.520	24.603	51.123	17.3%	33.4%	101.840	41.514	41.514	0	41.514	100.0%	100.0%	0	35.0%	47.6%	101.840
I 令和9年度 計画※	59.917	0	59.917	11.051	0	11.051	18.4%	18.4%	48.866	20.582	20.582	0	20.582	100.0%	100.0%	0	39.3%	39.3%	48.866

※「新・市政改革プラン」の期間(令和6～9年度)に合わせて設定した「中期目標」の達成に向けて、各所属で策定した年度毎の計画

3. 令和7年度の取組実績・課題・改善策など

令和7年度の取組実績
【060介護保険給付費不正利得返還金及び加算金】 ・弁護士等への相談を適宜行い、納付交渉等を適切に行った。 ・分割納付により返還中の事業所についても増額交渉を行って早期の完済となるよう努めた。 ・令和7年度新たに発生した返還金は、早期に当該事業所と接触を回り一括納付をさせるよう納付交渉を行った。 ・分割納付が滞っていた一部債務者に対し、居所調査・財産調査及び現地訪問などの納付交渉を粘り強く行った結果、改めて分割納付させることができた。
【070介護保険給付費不当利得返還金】 ・分割納付により返還中の事業所についても増額交渉を行って早期の完済となるよう努めた。 ・令和7年度新たに発生した返還金は、早期に当該事業所と接触を回り一括納付をさせるよう納付交渉を行った。 ・分割納付が滞っていた一部債務者に対し、居所調査・財産調査及び現地訪問などの納付交渉を粘り強く行った結果、改めて分割納付させることができた。
課題と改善策
【060介護保険給付費不正利得返還金及び加算金】 【課題】 ・本件債務者については、事業所指定取り消しにより債務返済にあてる収入を得る手段がなくなっており、多額の不正が発生した段階で法人破産により債権回収が困難となってしまう場合が多い。 ・他市町村で行政処分を行った事業者に対する返還金等については、返還金等の発生に係る情報を早期に把握することが困難で、介護給付費の審査支払留保対応や納付交渉時期が遅れてしまう。 【改善策】 ・法人破産せずに着実に債権回収できるような返済能力に応じた金額による分納交渉を行うとともに、毎年定期的に返済能力を確認し、適切な分納返済額の設定を行う。 ・状況によっては弁護士等の助言を仰ぎ、滞納処分等の対応を進める。 ・少なくとも府内の市町村とは適宜連携し、早期に行政処分に伴う返還金の発生状況を把握し、介護給付費の審査支払留保等の確実な債権回収につなげる。
【070介護保険給付費不当利得返還金】 【課題】 ・多額の返還金発生に伴い事業所を廃止することがあり、その場合債務返済にあてる収入を得る手段がなくなる。また、場合によっては法人破産により債権回収が困難となってしまう場合がある。 【改善策】 ・法人破産せずに着実に債権回収できるような返済能力に応じた金額による分納交渉を行うとともに、毎年定期的に返済能力を確認し、適切な分納返済額の設定を行う。

4. 令和8年度の取組内容 … 「1. 令和7年度の目標（＝未収金残高目標）の達成状況」及び「3. 令和7年度の取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

未収金の解消に向けた取組
【060介護保険給付費不正利得返還金及び加算金】 ・弁護士等の助言を仰ぎつつ、引き続き納付交渉等を適切に行い、未収残高の縮減につなげる。 ・分割納付により返還中の事業所についても増額交渉を行って早期の完済となるよう努める。 ・財産調査、滞納処分を行うも時効が到来した債権については、適切に不納欠損処理をすすめる。 ・返還金が発生した場合は、早期に当該事業所と接触を回り一括納付をさせるよう納付交渉を行う。
【070介護保険給付費不当利得返還金】 ・弁護士等の助言を仰ぎつつ、引き続き納付交渉等を適切に行い、未収残高の縮減につなげる。 ・分割納付により返還中の事業所についても増額交渉を行って早期の完済となるよう努める。 ・財産調査、滞納処分を行うも時効が到来した債権については、適切に不納欠損処理をすすめる。 ・返還金が発生した場合は、早期に当該事業所と接触を回り一括納付をさせるよう納付交渉を行う。
未収金の発生抑制に向けた取組
【060介護保険給付費不正利得返還金及び加算金】 ・一括納付が困難な事業所においては、必要に応じて分割納付を行うなどの納付交渉を行う。 納付交渉等にも応じない事業所の場合は、財産調査を行いながら、差押等の強制徴収を行う。 特に悪質な事業所については、指定・指導グループとも連携し法的な手段も視野にいれて対応していく。 ・不正請求発覚から処分決定までの間、当該事業所の介護給付費の審査支払については、一旦保留する。
【070介護保険給付費不当利得返還金】 ・一括納付が困難な事業所においては、必要に応じて分割納付を行うなどの納付交渉を行う。 納付交渉等にも応じない事業所の場合は、財産調査を行いながら、差押等の強制徴収を行う。 特に悪質な事業所については、指定・指導グループとも連携し法的な手段も視野にいれて対応していく。 ・不当請求発覚から処分決定までの間、当該事業所の介護給付費の審査支払については、一旦保留する。

未収金目標及び具体取組内容調査

所属	福祉局	担当・事業所名	生活福祉部地域福祉課	債権整理番号(3ケタ)	004	債権区分	私債権	債権名	大学奨学金貸付金返還金収入
----	-----	---------	------------	-------------	-----	------	-----	-----	---------------

1. 令和7年度の目標（＝未収金残高目標）の達成状況 … いずれかの記号を入力

過年度	A	現年度	B1	合計(過年度＋現年度)	B1
-----	---	-----	----	-------------	----

「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず目標も未達、「－」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定

2. 未収金の推移（実績及び目標） … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)

過年度分										現年度分							合計		
前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高		調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
ア ＝前年度ケ	イ ＝ア－ウ (▲＝増加を表す)	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ(エ＋オ)		ウ'	エ'	オ'	カ' ＝エ'＋オ'	キ' ＝エ'÷ウ'	ク' ＝カ'÷ウ'	ケ' ＝ウ'－ (エ'＋オ')	キ'' ＝(エ＋エ') ÷(ウ＋ウ')	ク'' ＝(カ＋カ') ÷(ア＋ウ')	ケ'' ＝ケ＋ケ'
A 令和6年度 当初目標	30,045	2,829	27,216	1,040	0	3,869	3.8%	12.9%	26,176	12,016	10,478	0	10,478	87.2%	87.2%	1,538	29.4%	34.1%	27,714
B 令和6年度 修正目標	31,585	2,829	28,756	709	2,729	6,267	2.5%	19.8%	25,318	13,052	11,146	0	11,146	85.4%	85.4%	1,906	28.4%	39.0%	27,224
C 令和6年度 実績	31,585	151	31,434	1,269	2,729	4,149	4.0%	13.1%	27,436	12,726	10,224	590	10,814	80.3%	85.0%	1,912	26.0%	33.8%	29,348
D 令和7年度 計画※	27,714	0	27,714	1,585	891	2,476	5.7%	8.9%	25,238	12,016	10,478	0	10,478	87.2%	87.2%	1,538	30.4%	32.6%	26,776
E 令和7年度 目標	29,348	0	29,348	3,332	471	3,803	11.4%	13.0%	25,545	12,767	10,903	0	10,903	85.4%	85.4%	1,864	33.8%	34.9%	27,409
F 令和7年度 実績	29,348	▲ 687	30,035	4,493	0	3,806	15.0%	13.0%	25,542	14,068	11,853	0	11,853	84.3%	84.3%	2,215	37.1%	36.1%	27,757
G 令和8年度 計画※	26,776	0	26,776	1,585	0	1,585	5.9%	5.9%	25,191	12,016	10,478	0	10,478	87.2%	87.2%	1,538	31.1%	31.1%	26,729
H 令和8年度 目標	27,757	0	27,757	1,431	0	1,431	5.2%	5.2%	26,326	14,314	12,096	0	12,096	84.5%	84.5%	2,218	32.2%	32.2%	28,544
I 令和9年度 計画※	26,729	0	26,729	1,585	0	1,585	5.9%	5.9%	25,144	12,016	10,478	0	10,478	87.2%	87.2%	1,538	31.1%	31.1%	26,682

※「新・市政改革プラン」の期間(令和6～9年度)に合わせて設定した「中期目標」の達成に向けて、各所属で策定した年度毎の計画

3. 令和7年度の実績・課題・改善策など

令和7年度の実績
(過年度) ・過年度滞納者に対し、令和7年度から色付き封筒の使用や封筒への注意書きの記載、督促状の表現の工夫など、ナッジ理論を活用した取組を実施した結果、長期間反応のなかった滞納者から納付があり、収納率が向上した。 ・履行延期が10年継続している者について、地方自治法施行令第171条の7第1項に基づく債務免除の可否を検討するため、世帯への聞き取り及び生計調査を実施した。その結果、免除要件には該当しなかったが、分割納付の意思が示されたため、分割を開始した。 (現年度) ・返還免除申請が所得基準を満たさず返還対象となった者に対しては、新たな未収金の発生を抑制するため、ナッジ理論も活用しながら、返還開始時期や返還方法について丁寧に説明し、返還への理解を得るよう努めた。 ・新たな滞納の発生を防ぐため、督促状の早期送付及び継続的な督促を実施した。 ・現年度分、過年度分ともに、制度の背景を十分理解したうえで、人権上の配慮を行いながら対象者への対応を行い、未納発生防止に努めた。 ・令和7年度決算時において、新条例施行時に1,743,337千円あった債権(20年で処理予定)のうち、88.92%にあたる1,550,255千円の債権処理を完了した。
課題と改善策
【課題】 (過年度) ・送付物を確認しない者、居所が別宅にある者など、反応がない又は接触できない長期滞納者への対応に苦慮している。また、預金調査が可能な滞納者については調査を実施しているが、財産の発見には至っていない。 (現年度) ・遠隔地に居住し電話番号が不明な借受者に対しては、文書による督促が中心となるが、反応がなく対応に苦慮している。 ・頻回に転居を繰り返す者については、居住実態の把握が困難であり、納付交渉が難しくなっている。 【改善策】 (過年度) ・郵送及び集電を行っても反応がない者については、色付き封筒を用いた文書送付やドアポストへの投函を強化し、接触機会の確保を図る。 ・郵送物が届かない者や居所が別宅であるとの情報がある者については、居住調査を積極的に実施する。 ・債務名義を取得している者については、預金照会や預貯金債権等に関する情報取得手続を実施し、強制執行を検討する。 (現年度) ・過年度分と併せて取組を進める。

4. 令和8年度の実績・課題・改善策など

未収金の解消に向けた取組
(過年度) ・納付状況を個別に調査し、過年度分のみ未納が見られる者については、失念の可能性もあることから、納付書の送付や積極的な納付案内を行う。 ・滞納者の中には、制度への理解不足に加え、多重債務や生活困窮により「どこに相談すればよいかわからない」者も想定されることから、法務相談等の第三者機関や生活困窮相談窓口を案内するとともに、分割(分割納付)の案内を掲載したチラシを督促状に同封し、返還につながる周知を行う。 ・過年度滞納者には接触が困難な者が多いため、滞納額全体が分かるよう工夫した案内文書を送付し、返還計画を立てやすくする。また、アプローチの開始が空き過ぎると納付意欲の低下につながることから、1か月を目途に継続的な働きかけを行う。 ・履行延期が10年継続している者のうち、地方自治法施行令第171条の7第1項に基づく債務免除の可能性のある者については、対応を検討する。 (現年度) ・免除申請が遅れている者については、積極的に申請勧奨を行う。その際、申請書の記入負担を軽減するため、住所等の既知情報をあらかじめ記載し、記入箇所を明示するなど、丁寧な勧奨を行う。 ・継続的に生活困窮の状態にある者に対しては、履行延期特約による分割納付等を案内し、借受者の負担軽減を図る。
未収金の発生抑制に向けた取組
(過年度) ・滞納者への督促状については、請求額及び滞納額が明確に分かる体裁とし、自身の滞納状況を把握しやすくする。 ・これまで接触できていない者については、送付物を確認しない者もいることから、簡潔で分かりやすい案内文書の送付や書留郵便の活用により、接触機会の確保に努める。 ・必要に応じて法務相談等の第三者機関や生活困窮相談窓口を案内するとともに、分割(分割納付)の案内を掲載したチラシを督促状に同封し、返還につながる案内を行う。 (現年度) ・免除申請が遅れている者については、積極的に申請勧奨を行う。その際、住所等の既知情報をあらかじめ記載するなど、借受者の負担軽減に配慮しながら丁寧な勧奨を行う。

未収金目標及び具体取組内容調査

所属	福祉局	担当・事業所名	障がい支援課	債権整理番号(3ケタ)	045	債権区分	強制徴収公債権	債権名	居宅介護給付費返還金(居宅生活支援費返還金)
----	-----	---------	--------	-------------	-----	------	---------	-----	------------------------

1. 令和7年度の目標(＝未収金残高目標)の達成状況 … いずれかの記号を入力

過年度	A	現年度	－	合計(過年度＋現年度)	A	「A」…目標達成、「B1」…取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」…取組みを予定通り実施できず目標も未達、「－」…当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定
-----	---	-----	---	-------------	---	---

2. 未収金の推移(実績及び目標) … 色付け箇所のみ、百四単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)

	過年度分									現年度分							合計			
	前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高	
	ア ＝前年度ケ	イ ＝ア－ウ ▲＝増加を表す	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ＋ウ	ク ＝カ＋ア	ケ ＝ウ－(エ＋オ)	ウ'	エ'	オ'	カ' ＝エ'＋オ'	キ' ＝エ'＋ウ'	ク' ＝カ'＋ウ'	ケ' ＝ウ'－ (エ'＋オ')	キ'' ＝(エ＋エ') ÷(ウ＋ウ')	ク'' ＝(カ＋カ') ÷(ア＋ウ')	ケ'' ＝ケ＋ケ'	
A	令和6年度 当初目標	36,193	0	36,193	720	0	720	2.0%	2.0%	35,473	0	0	0	0	－	－	0	2.0%	2.0%	35,473
B	令和6年度 修正目標	62,519	0	62,519	720	26,326	27,046	1.2%	43.3%	35,473	0	0	0	0	－	－	0	1.2%	43.3%	35,473
C	令和6年度 実績	62,519	0	62,519	710	50,929	51,639	1.1%	82.6%	10,880	114,398	62,234	0	62,234	54.4%	54.4%	52,164	35.6%	64.4%	63,044
D	令和7年度 計画※	35,473	0	35,473	720	0	720	2.0%	2.0%	34,753	0	0	0	0	－	－	0	2.0%	2.0%	34,753
E	令和7年度 目標	63,044	0	63,044	720	0	720	1.1%	1.1%	62,324	0	0	0	0	－	－	0	1.1%	1.1%	62,324
F	令和7年度 実績	63,044	0	63,044	13,081	0	13,081	20.7%	20.7%	49,963	53,373	2,022	0	2,022	3.8%	3.8%	51,351	13.0%	13.0%	101,314
G	令和8年度 計画※	34,753	0	34,753	720	0	720	2.1%	2.1%	34,033	0	0	0	0	－	－	0	2.1%	2.1%	34,033
H	令和8年度 目標	101,314	0	101,314	4,440	0	4,440	4.4%	4.4%	96,874	0	0	0	0	－	－	0	4.4%	4.4%	96,874
I	令和9年度 計画※	34,033	0	34,033	720	0	720	2.1%	2.1%	33,313	0	0	0	0	－	－	0	2.1%	2.1%	33,313

※「新・市政改革プラン」の期間(令和6～9年度)に合わせて設定した「中期目標」の達成に向けて、各所属で策定した年度毎の計画

3. 令和7年度を取組実績・課題・改善策など

令和7年度を取組実績
【過年度分】 ・分納誓約を行っている債権については、月々の納付が滞らないように納付確認を継続的に行う。 ・債務者に対して、月々の返還額の増額交渉を行ったところ、月々の返済額の増額に滞り着けた。 ・返還に至っていない債務者について、財産調査等を行ったが、返還できるだけの財産は判明しなかった。
【現年度分】 ・返還決定後、すぐに債務者と納付交渉を行い、一括返還を得た。 ・返還に至っていない債務者について、財産調査等を行ったが、返還できるだけの財産は判明しなかった。
課題と改善策
【課題】 ・次年度以降も債務者からの納付を継続的に受ける必要がある。 ・分納誓約を行っている債権について、早期の完済に向けて月々の返済額の増額交渉を検討する必要がある。 ・返済が滞っている債権について、所在や財産の把握に至っていない状況である。
【改善策】 ・財産調査を適宜行うとともに、債務者との面会の機会を設け、月々の返済額の増額の可能性を検討する。 ・債務者の居所調査や財産調査等を行い、債務者の状況を確認するとともに、継続的に納付交渉を実施する。

4. 令和8年度を取組内容 … 「1. 令和7年度の目標(＝未収金残高目標)の達成状況」及び「3. 令和7年度を取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

未収金の解消に向けた取組
・分納誓約を行っている債権については、月々の納付が滞らないように納付確認を継続的に行う。 ・分納誓約を行っている債権について、財産調査を適宜行うとともに、増額交渉が可能である場合は債務者との面会の機会を設け、月々の返済額の増額交渉を行う。 ・滞納が続いている債権については、債務者の居所調査や財産調査等を行ったうえで、催告書を送付するとともに、納付交渉を実施する。 ・滞納が続いている債権については、財産が判明次第、滞納処分等を実施する。
未収金の発生抑制に向けた取組
・返還決定後、すぐに債務者との面会の機会を設け、納期限までの支払いを依頼するとともに、滞納発生時の延滞金等の説明を行う。

未収金目標及び具体取組内容調査

所属	契約管財局	担当・事業所名	管財部管財課賃貸グループ	債権整理番号(3ケタ)	003	債権区分	私債権	債権名	土地賃貸料
----	-------	---------	--------------	-------------	-----	------	-----	-----	-------

1. 令和7年度の目標（＝未収金残高目標）の達成状況 … いずれかの記号を入力

過年度	A	現年度	B1	合計(過年度＋現年度)	B1
-----	---	-----	----	-------------	----

「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず目標も未達、「－」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定

2. 未収金の推移（実績及び目標） … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)

	過年度分									現年度分							合計			
	前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高	
	ア ＝前年度ケ [*]	イ ＝ア－ウ (▲＝増加を表す)	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ－(エ＋オ)	ウ'	エ'	オ'	カ' ＝エ'＋オ'	キ' ＝エ'÷ウ'	ク' ＝カ'÷ウ'	ケ' ＝ウ'－ (エ'＋オ')	キ'' ＝(エ＋エ') ÷(ウ＋ウ')	ク'' ＝(カ＋カ') ÷(ア＋ウ')	ケ'' ＝ケ＋ケ'	
A	令和6年度 当初目標	75,165	0	75,165	9,000	0	9,000	12.0%	12.0%	66,165	408,223	400,059	0	400,059	98.0%	98.0%	8,164	84.6%	84.6%	74,329
B	令和6年度 修正目標	71,132	0	71,132	9,000	0	9,000	12.7%	12.7%	62,132	402,955	394,895	0	394,895	98.0%	98.0%	8,060	85.2%	85.2%	70,192
C	令和6年度 実績	71,132	0	71,132	19,021	5,885	24,906	26.7%	35.0%	46,226	397,868	387,713	0	387,713	97.4%	97.4%	10,155	86.7%	88.0%	56,381
D	令和7年度 計画※	74,329	0	74,329	12,636	0	12,636	17.0%	17.0%	61,693	395,223	387,319	0	387,319	98.0%	98.0%	7,904	85.2%	85.2%	69,597
E	令和7年度 目標	56,381	▲1	56,382	9,000	0	8,999	16.0%	16.0%	47,382	389,431	381,642	0	381,642	98.0%	98.0%	7,789	87.6%	87.6%	55,171
F	令和7年度 実績	56,381	0	56,381	10,152	0	10,152	18.0%	18.0%	46,229	384,236	373,281	0	373,281	97.1%	97.1%	10,955	87.0%	87.0%	57,184
G	令和8年度 計画※	69,597	0	69,597	11,832	0	11,832	17.0%	17.0%	57,765	382,223	374,579	0	374,579	98.0%	98.0%	7,644	85.5%	85.5%	65,409
H	令和8年度 目標	57,184	0	57,184	8,169	1,131	9,300	14.3%	16.3%	47,884	373,608	366,135	0	366,135	98.0%	98.0%	7,473	86.9%	87.1%	55,357
I	令和9年度 計画※	65,409	0	65,409	11,120	0	11,120	17.0%	17.0%	54,289	369,223	361,839	0	361,839	98.0%	98.0%	7,384	85.8%	85.8%	61,673

※「新・市政改革プラン」の期間(令和6～9年度)に合わせて設定した「中期目標」の達成に向けて、各所属で設定した年度毎の計画

3. 令和7年度の取組実績・課題・改善策など

令和7年度の取組実績
○過年度 ・滞納額を一括で支払えない滞納者については、支払督促書を徴収したうえで毎月分割で納付させた。 ・毎月取納管理を行い、納付が遅れている案件については、電話及び現地訪問等の督促行為を積極的にを行い、賃貸料の納付が滞らないように努めた。 ・特に高額かつ未収金回収までの整理が複雑な案件については、未収金回収業務について委任契約を締結している弁護士へ法律相談及び法的措置を含めた対応を依頼した。 ・賃借人の死亡が確認された案件については、迅速に相続調査を実施し相続人と納付交渉等を進めた。 ・相続人の不存在が明らかとなった案件については、相続財産清算人選任の申立てを行い滞納回収に向けた交渉を進めた。 ○現年度 ・納入期限より30日以内に督促状を送付した。 ・督促状の納入期限を過ぎても納付がなされない案件については、電話及び現地訪問等の督促行為を積極的にを行い、早期滞納解消に努めた。 ・賃借人が死亡している案件については、将来の複雑な高額滞納案件とならないよう相続手続き及び請求行為又は相続放棄の確認を進めた。
課題と改善策
【課題】 ・事業開始から70年以上が経過し、当該建物の老朽化や賃借人の高齢化が進む中、生活状況の変化により本件地に居住していないケースや、相続名義変更手続きがされていないケースも増加してきている。また、相続人不在、相続人の確定が困難、相続放棄など、権利関係が複雑化しておりその対応策について法律の専門的な知識が必要となっている。 【改善策】 ○過年度 ・滞納交渉が進まない案件については、委任弁護士からの督促を実施し法的対応についても検討を行う。 ・訴訟や相続財産清算人選任など法的対応が必要な案件について、委任弁護士からの助言を受けながら法的アプローチを図る。 ○現年度 ・納付書が届かない案件については、相続が発生している可能性を考慮し、迅速に相続調査を行う。

4. 令和8年度の取組内容 … 「1. 令和7年度の目標(＝未収金残高目標)の達成状況」及び「3. 令和7年度の取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

未収金の解消に向けた取組
○過年度 ・未収金回収業務について弁護士と委任契約を締結し、滞納案件ごとの法律相談及び法的措置を含めた対応を実施する。 ・賃借人の死亡が確認された案件については、迅速に相続調査を実施し相続人へ納付交渉等を行う。 ・相続放棄がされている等相続人が不存在となった案件については、費用対効果を検討したうえで相続財産清算人選任の申立てを行い、未収金の回収を図る。 ・相続財産清算人と交渉の上で滞納整理を行った案件のうち、未収金が残存しつつ時効が完成している案件については、時効援用通知書が届き次第、不能欠損処理を行う。 ・相続財産清算人と交渉の上で滞納整理を行った案件のうち、未収金が残存している案件については、債権放棄の議決が得られ次第、不納欠損処理を行う。 ○現年度 ・納入期限より30日以内に督促状を送付する。督促状の納入期限後も弁済がなされない案件については、すみやかに電話連絡を実施し、必要に応じて催告書送付及び現地訪問による納付交渉等を実施する。 ・納付書が返戻される場合や登録電話番号が不通である場合は、現地訪問及び住民票請求等により賃借人の存否を確認する。 ・賃借人の死亡が確認された案件については、迅速に相続調査を実施し相続人へ納付交渉等を行う。
未収金の発生抑制に向けた取組
・口座振替登録を勧奨するために納入通知書送付時に口座振替の案内文書を同封する。 ・電話連絡や催告書送付、現地訪問といった納付交渉の早期実施を徹底する。

未収金目標及び具体取組内容調書

所属	こども青少年局	担当・事業所名	こども家庭課	債権整理番号(3ケタ)	180	債権区分	私債権	債権名	母子父子寡婦福祉貸付金
----	---------	---------	--------	-------------	-----	------	-----	-----	-------------

1. 令和7年度の目標（＝未収金残高目標）の達成状況 … いずれかの記号を入力

過年度	A	現年度	A	合計(過年度＋現年度)	A
-----	---	-----	---	-------------	---

「A」… 目標達成、「B」… 取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず目標も未達、「－」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定

2. 未収金の推移（実績及び目標） … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)

過年度分										現年度分							合計		
前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高		調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
ア ＝前年度ケ＂	イ ＝ア－ウ ▲＝増加を表す	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ÷(エ＋オ)		ウ*	エ*	オ*	カ* ＝エ*＋オ*	キ* ＝エ*÷ウ*	ク* ＝カ*÷ウ*	ケ* ＝ウ*÷ (エ*＋オ*)	キ** ＝(エ＋エ*) ÷(ウ＋ウ*)	ク** ＝(カ＋カ*) ÷(ア＋ウ*)	ケ** ＝ケ＋ケ*
A 令和6年度 当初目標	588,751	0	588,751	43,419	0	43,419	7.4%	7.4%	545,332	238,951	211,772	0	211,772	88.6%	88.6%	27,179	30.8%	30.8%	572,511
B 令和6年度 修正目標	595,646	0	595,646	37,929	0	37,929	6.4%	6.4%	557,717	234,986	210,193	0	210,193	89.4%	89.4%	24,793	29.9%	29.9%	582,510
C 令和6年度 実績	595,646	0	595,646	38,051	8,008	46,059	6.4%	7.7%	549,587	198,562	174,758	0	174,758	88.0%	88.0%	23,804	26.8%	27.8%	573,391
D 令和7年度 計画※	572,511	0	572,511	42,366	0	42,366	7.4%	7.4%	530,145	236,770	209,778	0	209,778	88.6%	88.6%	26,992	31.2%	31.2%	557,137
E 令和7年度 目標	573,391	0	573,391	35,241	0	35,241	6.1%	6.1%	538,150	219,345	195,778	0	195,778	89.3%	89.3%	23,567	29.1%	29.1%	561,717
F 令和7年度 実績	573,391	0	573,391	37,146	1,514	38,660	6.5%	6.7%	534,731	192,641	171,176	0	171,176	88.9%	88.9%	21,465	27.2%	27.4%	556,196
G 令和8年度 計画※	557,137	0	557,137	41,228	0	41,228	7.4%	7.4%	515,909	238,066	210,926	0	210,926	88.6%	88.6%	27,140	31.7%	31.7%	543,049
H 令和8年度 目標	556,196	0	556,196	33,877	0	33,877	6.1%	6.1%	522,319	205,933	183,951	0	183,951	89.3%	89.3%	21,982	28.6%	28.6%	544,301
I 令和9年度 計画※	543,049	0	543,049	40,186	0	40,186	7.4%	7.4%	502,863	237,929	210,805	0	210,805	88.6%	88.6%	27,124	32.1%	32.1%	529,987

※「新・市政改革プラン」の期間(令和6～9年度)に合わせて設定した「中期目標」の達成に向けて、各所属で策定した年度毎の計画

3. 令和7年度を取組実績・課題・改善策など

令和7年度を取組実績
・4月当初に当事業の概要について区担当者あてに周知、5月29日、9月30日に区担当者説明会を実施し、区担当者のスキルアップを行った。 ・10月から翌年1月にかけて、償還促進月間を設定し、その期間中に重点的に電話及び訪問による催告を実施した。 ・各区の独自の未収金対策を集約し、全区へ情報提供を行った。 ・新たな滞納者を発生させないよう、貸付時及び償還開始前に償還の意識づけを行うとともに、初回時未納者については文書による督促だけでなく、電話により納付指導を行い、債務者の償還意識の向上を図るとともに、早期に本来の償還計画に属すようにした。 ・令和7年10月より各区へ事務指導を実施、区の債権管理状況を確認するとともに、個別ケースへの対応について指導することで、困難ケースへの対応方法を整理した。 ・サービス（債権回収業者）による債権回収を行い、訪問による直接交渉に重点を置き、早期納付を求めた。 ・局において、債権管理の非常勤嘱託職員により、分納契約などの履行状況等収納管理を行うと共に、滞納者に早期に督促し、滞納の解消、安定した徴収に取り組んだ。
課題と改善策
【課題】 ・滞納者のうち、滞納が長期化又は難件化している事業の割合が増加してきている。 ・区担当者は当事業以外の業務を複数兼務している職員ばかりであるため、貸付事務や債権管理のノウハウの共有を図ることが難しい。 ・制度の性質上、低所得、生活困窮の債務者が多く、償還が滞りやすい。
【改善策】 ・区担当者と連携を密にし、個別事業への対応方法を具体化する。それでも滞納が続く場合には、財産調査やサービスへの委託等を実施する等の対応を行う。 ・担当者説明会や事務連絡、事務指導等により、区担当者のスキルアップをはかる。

4. 令和8年度を取組内容 … 「1. 令和7年度の目標（＝未収金残高目標）の達成状況」及び「3. 令和7年度を取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

未収金の解消に向けた取組
・区担当者に対する説明会や事務指導等を実施することで、区担当者のスキルアップをはかり、また各区の独自の対策を集約し全区で共有することで、債務者との納付交渉等に活かしていく。 ・償還促進月間を設定し、重点的に徴収を行う。 ・初回時未納者については文書による督促だけでなく、電話により納付指導を行い、債務者の償還意識の向上を図るとともに、早期に本来の償還計画に属す。 ・引き続き、サービス（債権回収業者）による債権回収を行い、早期納付を求めている。 ・局において、非常勤嘱託職員を引き続き雇用し収納管理を行い、滞納者に早期に連絡し、徴収を強化していく。 ・財産調査等を実施し、滞納が長引いている債務者への対応を強化する。 ・債務者らが、破産免責を受けている債権をはじめ、回収の見込みのない債権については、債権放棄の手続きを進め、適正な債権管理に取り組む。
未収金の発生抑制に向けた取組
・新たな滞納者を発生させないために、貸付の際に他制度の案内等を行い、また償還見込みがあるかどうかを判断してから貸付を行う。 ・償還開始前に、借受人等に対し区役所への来庁を依頼し、担当者と面談のうえ、償還の意識づけを行うとともに、口座振替の登録の確認を行う。 ・初回時未納者について、特に重点的に納付指導を行い、早期に滞納の解消を図り、本来の償還計画に戻していく。

未収金目標及び具体取組内容調書

所属	こども青少年局	担当・事業所名	こども家庭課	債権整理番号(3ケタ)	050・051	債権区分	強制徴収債権	債権名	児童扶養手当返還金
----	---------	---------	--------	-------------	---------	------	--------	-----	-----------

1. 令和7年度の目標（＝未収金残高目標）の達成状況 … いずれかの記号を入力

過年度	A	現年度	A	合計(過年度＋現年度)	A	「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず目標も未達、「－」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定
-----	---	-----	---	-------------	---	---

2. 未収金の推移（実績及び目標） … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)

		過年度分									現年度分							合計		
		前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア ＝前年度ケ'	イ ＝ア－ウ (▲＝増加を表す)	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ×(エ＋オ)	ウ'	エ'	オ'	カ' ＝エ'＋オ'	キ' ＝エ'÷ウ'	ク' ＝カ'÷ウ'	ケ' ＝ウ'× (エ'＋オ')	キ' ＝(エ＋エ') ÷(ウ＋ウ')	ク' ＝(カ＋カ') ÷(ア＋ウ')	ケ' ＝ケ＋ケ'
A	令和6年度 当初目標	188,431	0	188,431	19,070	6,714	25,784	10.1%	13.7%	162,647	66,121	42,394	0	42,394	64.1%	64.1%	23,727	24.1%	26.8%	186,374
B	令和6年度 修正目標	190,184	0	190,184	19,269	6,714	25,983	10.1%	13.7%	164,201	49,323	31,937	0	31,937	64.8%	64.8%	17,386	21.4%	24.2%	181,587
C	令和6年度 実績	190,184	▲ 1,314	191,498	17,965	4,199	20,850	9.4%	11.0%	169,334	60,276	35,042	0	35,042	58.1%	58.1%	25,234	21.1%	22.3%	194,568
D	令和7年度 計画※	186,374	0	186,374	18,774	6,610	25,384	10.1%	13.6%	160,990	66,121	42,394	0	42,394	64.1%	64.1%	23,727	24.2%	26.8%	184,717
E	令和7年度 目標	194,568	2,805	191,763	18,763	6,675	28,243	9.8%	14.5%	166,325	60,276	36,116	0	36,116	59.9%	59.9%	24,160	21.8%	25.3%	190,485
F	令和7年度 実績	194,568	2,806	191,762	19,130	6,556	28,492	10.0%	14.6%	166,076	40,718	22,538	0	22,538	55.4%	55.4%	18,180	17.9%	21.7%	184,256
G	令和8年度 計画※	184,717	0	184,717	18,607	6,551	25,158	10.1%	13.6%	159,559	66,121	42,394	0	42,394	64.1%	64.1%	23,727	24.3%	26.9%	183,286
H	令和8年度 目標	184,256	0	184,256	18,943	6,262	25,205	10.3%	13.7%	159,051	50,106	30,304	0	30,304	60.5%	60.5%	19,802	21.0%	23.7%	178,853
I	令和9年度 計画※	183,286	0	183,286	18,463	6,500	24,963	10.1%	13.6%	158,323	66,121	42,394	0	42,394	64.1%	64.1%	23,727	24.4%	27.0%	182,050

※「新・市政改革プラン」の期間(令和6～9年度)に合わせて設定した「中期目標」の達成に向けて、各所属で策定した年度毎の計画

3. 令和7年度の取組実績・課題・改善策など

令和7年度の取組実績
【050児童扶養手当返還金(不正・不当利得)】 ・返還金の事務処理要領を周知徹底し、債権回収や消滅時効経過予定債権への対応を進めた。 ・分納誓約の履行が滞っている債務者に催告状発送等の納付勧奨を行った。 ・債務者に対し、口座振替を積極的に勧めた。 ・全滞納者に対して、滞納処分を行うにあたり、納付注意書及び最終催告書の送付を行った。 ・事務指導を行った際に、返還金処理についての指導を行った。また、事務指導を行っていない区に対して、電話で返還金処理の指導を行った。 ・滞納者の金融機関開示を行い、口座差押を行った。 ・滞納者の給与差押を行った。
【051児童扶養手当返還金(過誤分)】 ・返還金の事務処理要領を周知徹底し、債権回収や消滅時効経過予定債権への対応を進めた。 ・分納誓約の履行が滞っている債務者に催告状発送等の納付勧奨を行った。 ・債務者に対し、口座振替を積極的に勧めた。 ・事務指導を行った際に、返還金処理についての指導を行った。また、事務指導を行っていない区に対して、電話で返還金処理の指導を行った。
課題と改善策
【050児童扶養手当返還金(不正・不当利得)】 【課題】 ・制度の性質上、低所得、生活困窮の債務者が多く、返還が滞りやすい。 【改善策】 ・少しずつでも変換できるよう分納相談を行い、分納誓約書の提出を求める。また、口座振替についても積極的に勧める。 ・財産調査を行った結果、資産等の確認ができなければ、滞納処分の停止について検討を行う。
【051児童扶養手当返還金(過誤分)】 【課題】 ・制度の性質上、低所得、生活困窮の債務者が多く、返還が滞りやすい。 【改善策】 ・少しずつでも変換できるよう分納相談を行い、分納誓約書の提出を求める。また、口座振替についても積極的に勧める。 ・財産調査や差押を可能にするために、申請時に調査同意書を取得する。

4. 令和8年度の取組内容 … 「1. 令和7年度の目標(＝未収金残高目標)の達成状況」及び「3. 令和7年度の取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

未収金の解消に向けた取組
【050児童扶養手当返還金(不正・不当利得)】 ・催告状発送等の納付勧奨を行う。 ・納付注意書、最終催告書を送付した結果、一部納付等がなかった債権者に対して預金調査等を行い、滞納処分を進めている。 ・債務者に対し、口座振替を積極的に勧める。
【051児童扶養手当返還金(過誤分)】 ・催告状発送等の納付勧奨を行う。 ・債務者に対し、口座振替を積極的に勧める。
未収金の発生抑制に向けた取組
【050児童扶養手当返還金(不正・不当利得)】 ・総合福祉システムから配属される福祉異動リストを活用する。 ・新規認定時や現況届時にしおりを配付し、受給者への制度の説明及び届出手続等の説明を徹底する。 ・認定中に疑義が生じた場合は、すぐに支給差止を行い、過払いとらないようにする。
【051児童扶養手当返還金(過誤分)】 ・総合福祉システムから配属される福祉異動リストを活用する。 ・新規認定時や現況届時にしおりを配付し、受給者への制度の説明及び届出手続等の説明を徹底する。

未収金目標及び具体取組内容調書

所属	こども青少年局	担当・事業所名	こども家庭課	債権整理番号(3ケタ)	040	債権区分	強制徴収公債権	債権名	児童福祉施設徴収金
----	---------	---------	--------	-------------	-----	------	---------	-----	-----------

1. 令和7年度の目標（＝未収金残高目標）の達成状況 … いずれかの記号を入力

過年度	B1	現年度	B1	合計(過年度＋現年度)	B1	「A」…目標達成、「B1」…取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」…取組みを予定通り実施できず目標も未達、「－」…当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定
-----	----	-----	----	-------------	----	---

2. 未収金の推移（実績及び目標） … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)

	過年度分									現年度分							合計			
	前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高	
	ア ＝前年度ケ"	イ ＝ア－ウ ▲＝増加を表す)	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ＋ウ	ク ＝カ＋ア	ケ ＝ウ－(エ＋オ)	ウ'	エ'	オ'	カ' ＝エ'＋オ'	キ' ＝エ'＋ウ'	ク' ＝カ'＋ウ'	ケ' ＝ウ'－ (エ'＋オ')	キ'' ＝(エ＋エ') ÷(ウ＋ウ')	ク'' ＝(カ＋カ') ÷(ア＋ウ')	ケ'' ＝ケ＋ケ'	
A	令和6年度 当初目標	95,309	0	95,309	6,672	7,720	14,392	7.0%	15.1%	80,917	49,898	35,976	0	35,976	72.1%	72.1%	13,922	29.4%	34.7%	94,839
B	令和6年度 修正目標	106,420	0	106,420	7,449	7,646	15,095	7.0%	14.2%	91,325	53,728	38,737	0	38,737	72.1%	72.1%	14,991	28.8%	33.6%	106,316
C	令和6年度 実績	106,420	783	105,637	5,936	10,815	17,534	5.6%	16.5%	88,886	57,871	37,141	0	37,141	64.2%	64.2%	20,730	26.3%	33.3%	109,616
D	令和7年度 計画※	94,839	0	94,839	6,639	7,682	14,321	7.0%	15.1%	80,518	50,227	36,214	0	36,214	72.1%	72.1%	14,013	29.5%	34.8%	94,531
E	令和7年度 目標	109,616	0	109,616	7,673	8,750	16,423	7.0%	15.0%	93,193	56,259	40,562	0	40,562	72.1%	72.1%	15,697	29.1%	34.4%	108,890
F	令和7年度 実績	109,616	213	109,403	5,523	10,054	15,790	5.0%	14.4%	93,826	58,297	36,499	0	36,499	62.6%	62.6%	21,798	25.1%	31.1%	115,624
G	令和8年度 計画※	94,531	0	94,531	6,617	7,657	14,274	7.0%	15.1%	80,257	50,008	36,056	0	36,056	72.1%	72.1%	13,952	29.5%	34.8%	94,209
H	令和8年度 目標	115,624	0	115,624	8,093	9,787	17,880	7.0%	15.5%	97,744	58,730	42,345	0	42,345	72.1%	72.1%	16,385	28.9%	34.5%	114,129
I	令和9年度 計画※	94,209	0	94,209	6,595	7,631	14,226	7.0%	15.1%	79,983	50,044	36,082	0	36,082	72.1%	72.1%	13,962	29.6%	34.9%	93,945

※「新・市政改革プラン」の期間(令和6～9年度)に合わせて設定した「中期目標」の達成に向けて、各所属で策定した年度毎の計画

3. 令和7年度を取組実績・課題・改善策など

令和7年度を取組実績
・各区役所向けのマニュアル改訂と同時に研修動画を作成し、担当者が常時研修を動画受講できるように取り組んだ。 ・区役所へ事務指導を行い、未収金に関する指導とともに、担当者からの相談に対応した。 ・債務者に対して、口座振替による納付勧奨を行った。
課題と改善策
【課題】 ・児童福祉施設への入所の措置は、経済的理由ということを必ずしも必要とせず、児童が要保護という要件に該当すれば本市が入所措置をとることから、保護者の理解を得にくい徴収金であるため、未収金が生じやすい。 ・各区児童福祉施設徴収金の従事職員は、複数の業務を兼務し、債権回収に関する知識の習得・向上に困難さがある。
【改善策】 ・費用徴収金の発生について、措置決定時の保護者説明の際に、保護者の理解を得られるように、こども相談センターでの周知徹底を図る。 ・引き続き各区担当者向けに、徴収金事務研修・事務指導を実施する。

4. 令和8年度を取組内容 … 「1. 令和7年度の目標(＝未収金残高目標)の達成状況」及び「3. 令和7年度を取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

未収金の解消に向けた取組
・各区担当者向け事務説明会を実施し、徴収金業務に関する知識の向上を目指す。 ・各区へ事務指導を実施する。 ・滞納者に対して預金調査等を行い、滞納処分や整理を進めていく。
未収金の発生抑制に向けた取組
・費用徴収金の発生について、措置決定時の保護者説明の際に、保護者の理解を得られるように、こども相談センターでの周知徹底を図る。 ・新規措置時や扶養義務者の状況の変更など、各区担当者への連携を速やかに行うよう、こども相談センターへ周知徹底を行う。 ・助産施設の徴収金について、各区へ出産育児一時金を活用した徴収方法の周知徹底を行う。

未収金目標及び具体取組内容調書

所属	環境局	担当・事業所名	斎場霊園担当	債権整理番号(3ケタ)	006	債権区分	非強制徴収公債権	債権名	霊園手数料
----	-----	---------	--------	-------------	-----	------	----------	-----	-------

1. 令和7年度の目標（＝未収金残高目標）の達成状況 … いずれかの記号を入力

過年度	A	現年度	A	合計(過年度＋現年度)	A
-----	---	-----	---	-------------	---

「A」…目標達成、「B」…取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」…取組みを予定通り実施できず目標も未達、「－」…当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定

2. 未収金の推移（実績及び目標） … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)

	過年度分									現年度分							合計		
	前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
	ア ＝前年度ケ	イ ＝ア－ウ ▲＝増加を表す	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ＋ウ	ク ＝カ＋ア	ケ ＝ウ－(エ＋オ)	ウ'	エ'	オ'	カ' ＝エ'＋オ'	キ' ＝エ'＋ウ'	ク' ＝カ'＋ウ'	ケ' ＝ウ'－ (エ'＋オ')	キ'' ＝(エ＋エ') ÷(ウ＋ウ')	ク'' ＝(カ＋カ') ÷(ア＋ウ')	ケ'' ＝ケ＋ケ'
A 令和6年度 当初目標	13,578	0	13,578	2,610	1,090	3,700	19.2%	27.2%	9,878	241,922	238,290	0	238,290	98.5%	98.5%	3,632	94.3%	94.7%	13,510
B 令和6年度 修正目標	12,122	0	12,122	2,300	1,640	3,940	19.0%	32.5%	8,182	248,624	244,800	0	244,800	98.5%	98.5%	3,824	94.8%	95.4%	12,006
C 令和6年度 実績	12,122	119	12,003	2,851	1,106	4,076	23.8%	33.6%	8,046	234,200	230,293	0	230,293	98.3%	98.3%	3,907	94.7%	95.1%	11,953
D 令和7年度 計画※	13,510	0	13,510	2,610	1,090	3,700	19.3%	27.4%	9,810	193,141	190,244	0	190,244	98.5%	98.5%	2,897	93.3%	93.9%	12,707
E 令和7年度 目標	11,953	0	11,953	2,306	1,478	3,784	19.3%	31.7%	8,169	225,941	222,325	0	222,325	98.4%	98.4%	3,616	94.4%	95.0%	11,785
F 令和7年度 実績	11,953	24	11,929	3,191	1,061	4,276	26.7%	35.8%	7,677	190,773	187,695	0	187,695	98.4%	98.4%	3,078	94.2%	94.7%	10,755
G 令和8年度 計画※	12,707	0	12,707	2,610	1,090	3,700	20.5%	29.1%	9,007	220,934	217,620	0	217,620	98.5%	98.5%	3,314	94.3%	94.7%	12,321
H 令和8年度 目標	10,755	0	10,755	2,473	864	3,337	23.0%	31.0%	7,418	233,201	229,236	0	229,236	98.3%	98.3%	3,965	95.0%	95.3%	11,383
I 令和9年度 計画※	12,321	0	12,321	2,610	1,090	3,700	21.2%	30.0%	8,621	210,569	207,410	0	207,410	98.5%	98.5%	3,159	94.2%	94.7%	11,780

※「新・市政改革プラン」の期間(令和6～9年度)に合わせて設定した「中期目標」の達成に向けて、各所属で策定した年度毎の計画

3. 令和7年度を取組実績・課題・改善策など

令和7年度を取組実績
・過年度未収金に対する取組として、自宅訪問を実施(大阪市及び近郊市在住の債務者計53名) 面会することができたのは11名であった。(面会率21%) 面会できなかった債務者について、後日連絡が入ることもあり、最終的に16名から未収金を徴収することができた(徴収率30%)。 訪問を実施していない債務者については、郵送及び電話による納付交渉や、連絡が取れない場合は戸籍調査や相続人調査を行い、未収金の回収に努めた。
現年度の未収金に対する取組として、郵送及び電話による納付交渉を行うとともに、20年分を基本としている管理料について、納付困難者には5年分もしくは1年分での納付も認める措置を取る等した。また、使用者の死亡や所在不明に対して戸籍調査や相続人調査も行い、未収金徴収に努めた。
課題と改善策
【課題】 ・[過年度]自宅訪問による納付交渉は一定の成果が見られ、特に滞納期間が短い債務者は回収率が高い一方、長期滞納者の回収率は低い傾向にある。 ・[過年度]使用者死亡判明後、承継手続きが進まず滞納が解消されないケースが散見される。 ・[現年度]前回の納付から20年経過している使用者が多いため、管理料納付について認識していないケースや使用者情報が更新されていないケースが散見される。 【改善策】 ・[過年度]比較的回収率の高い、滞納期間が短い債務者に対する自宅訪問による納付交渉に注力することで回収率の向上を図る。 ・[過年度]使用者の死亡が判明している場合、親族に対して承継や返還を促し、滞納解消に努める。 ・[現年度]管理料満期を迎える1年前及び3か月前に使用者に対して通知を行い、納付の必要性を事前に認識させる。 ・[現年度]管理料満期を迎える1年前及び3か月前に通知を行ったものの、書類の返送等があった場合は、戸籍調査や相続人調査を行い、使用者の状況把握に努める。

4. 令和8年度を取組内容 … 「1. 令和7年度の目標（＝未収金残高目標）の達成状況」及び「3. 令和7年度を取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

未収金の解消に向けた取組
・比較的に回収率が高い、滞納期間が短い債務者に対する納付交渉(自宅訪問の実施等)に注力することで回収率の向上を図るとともに、未収金額の増加防止に努める。 ・連絡が取れない債務者に対しては、戸籍調査や相続人調査を実施し、親族等による承継や返還を促していく。
未収金の発生抑制に向けた取組
・管理料満期を迎える1年前及び3か月前に使用者に対して通知を行い、納付の必要性を事前に認識させる。 ・上記の通知によって、書類の返送等があった場合は、戸籍調査や相続人調査を行い、使用者の状況把握に努める。

未収金目標及び具体取組内容調査

所属	都市整備局	担当・事業所名	住宅部管理課	債権整理番号(3ケタ)	002	債権区分	私債権	債権名	不正入居等損害金(管理担当)
----	-------	---------	--------	-------------	-----	------	-----	-----	----------------

1. 令和7年度の目標（＝未収金残高目標）の達成状況 … いずれかの記号を入力

過年度	B1	現年度	B1	合計(過年度+現年度)	B1
-----	----	-----	----	-------------	----

「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず目標も未達、「－」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定

2. 未収金の推移（実績及び目標） … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)

		過年度分									現年度分							合計		
		前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア ＝前年度△	イ ＝ア－ウ (▲＝増加を表す)	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ－(エ＋オ)	ウ'	エ'	オ'	カ' ＝エ'＋オ'	キ' ＝エ'÷ウ'	ク' ＝カ'÷ウ'	ケ' ＝ウ'－ (エ'＋オ')	キ'' ＝(エ＋エ') ÷(ウ＋ウ')	ク'' ＝(カ＋カ') ÷(ア＋ウ')	ケ'' ＝ケ＋ケ'
A	令和6年度 当初目標	953,297	0	953,297	14,299	30,000	44,299	1.5%	4.6%	908,998	49,281	7,540	0	7,540	15.3%	15.3%	41,741	2.2%	5.2%	950,739
B	令和6年度 修正目標	961,469	1	961,468	20,190	26,500	46,691	2.1%	4.9%	914,778	49,281	7,540	0	7,540	15.3%	15.3%	41,741	2.7%	5.4%	956,519
C	令和6年度 実績	961,469	4,835	956,634	17,309	14,944	37,088	1.8%	3.9%	924,381	53,091	3,674	37	3,711	6.9%	7.0%	49,380	2.1%	4.0%	973,761
D	令和7年度 計画※	950,739	0	950,739	14,261	30,000	44,261	1.5%	4.7%	906,478	44,000	6,732	0	6,732	15.3%	15.3%	37,268	2.1%	5.1%	943,746
E	令和7年度 目標	973,761	9,702	964,059	19,281	42,660	71,643	2.0%	7.4%	902,118	49,281	5,766	0	5,766	11.7%	11.7%	43,515	2.5%	7.6%	945,633
F	令和7年度 実績	973,761	12,946	960,815	14,402	22,502	49,850	1.5%	5.1%	923,911	55,049	3,558	0	3,558	6.5%	6.5%	51,491	1.8%	5.2%	975,402
G	令和8年度 計画※	943,746	0	943,746	14,156	30,000	44,156	1.5%	4.7%	899,590	44,000	6,732	0	6,732	15.3%	15.3%	37,268	2.1%	5.2%	936,858
H	令和8年度 目標	975,402	0	975,402	19,508	24,385	43,893	2.0%	4.5%	931,509	46,360	5,424	0	5,424	11.7%	11.7%	40,936	2.4%	4.8%	972,445
I	令和9年度 計画※	936,858	0	936,858	14,053	30,000	44,053	1.5%	4.7%	892,805	44,000	6,732	0	6,732	15.3%	15.3%	37,268	2.1%	5.2%	930,073

※「新・市政改革プラン」の期間(令和6～9年度)に合わせて設定した「中期目標」の達成に向けて、各所属で策定した年度毎の計画

3. 令和7年度の実績・課題・改善策など

令和7年度の実績
【過年度】 未収金の削減のため、以下の取組みを行った。 ・退去滞納者や相続人で所在不明の者については、住民基本台帳との連携システムを活用するなど、定期的に住民情報の取得を行い、転居先の把握努力。 ・所在の判明している退去滞納者に対しては、引き続き本市による督促や訪問員による現地訪問督促を実施。 ・督促を行うも支払いのない者に対しては速やかに債権回収を専門的に行っている弁護士法人への退去滞納催告委託案件として業務委託。(令和7年度3月末時点委託案件回収額:10,650千円) ・分割納付を誓約している者については、常に履行状況を確認し不履行になった場合には速やかに委託先より催告。 ・委託先において催告を行うも支払いがない者に対しては、速やかに法的措置への移行。(令和7年度3月末時点債権差押申立件数:32件 取立件数:16件) ・破産で免責を受けたもの、相続人不存在のもの、相続人存否不明のもの、所在不明者に対する債権(債権額が10万円以上)について、譲渡を得て債権放棄の実施。(21件:7,297,588円) ・破産で免責を受けたもの、相続人不存在のもの、所在不明者に対する債権(債権額が10万円未満)について、市長専決処分による債権放棄の実施。(3件:217,032円) 【現年度】 損害金発生を未然に防ぐため、以下の取組みをおこなった。 ・即決和解申出者に対し和解期日までの毎月の収納状況を管理し、滞納額を増やさないために電話及び文書による督促を実施。また、即決和解当日不出頭者には、翌月に取消通知を発送。 ・損害金の発生を抑制する観点から、明渡訴訟移行前に出来るだけ即決和解の手続きに誘導する取組みを実施。(令和7年度3月末時点即決和解申出件数:179件) ・住宅明渡の判決確定者に対し単純に強制執行を待つだけでなく、訪問員による現地訪問を実施し早期の自主退去を促し、損害金の発生を抑制する取組みの実施。 ・強制執行について、執行補助業者と連携し、判決から断行までの期間短縮。
課題と改善策
【課題】 ・損害金がある滞納者については、強制執行により退去した者が多数を占めるため、所在不明者の割合が高い。また所在が判明したもののについても、支払意欲がないものが多い。 【改善策】 ・所在不明者については、定期的な住民票再取得など転居先の把握に努め、督促の糸口を掴めるように努める。 ・所在判明者については、少額で年数がかかろうとも支払いをするように交渉し、委託業者に引き継ぐ。 ・他都市の債権管理条例も参考にしながら、法的リスク審査、弁護士相談等を行い、徴収困難な債権については債権放棄の実施に向けた取組みを進める。

4. 令和8年度の実績・課題・改善策など

令和8年度の実績
【過年度】 未収金の削減のため、以下の取組みを行った。 ・退去滞納者や相続人で所在不明の者については、引き続き定期的な住民票の取得を行うとともに、住民基本台帳との連携システムを活用し、早期の転居先の把握に努める。 ・所在の判明している退去滞納者に対しては、引き続き文書督促や現地訪問督促を実施する。督促を行うも支払いのない者に対しては速やかに債権回収を専門的に行っている弁護士法人への退去滞納催告委託案件とする。 ・委託先より、保証人に対してはも支払説得依頼通知を発送する。 ・分割納付を誓約している者については、常に履行状況を確認し不履行になった場合には速やかに委託先より催告を行う。 ・委託先において催告を行うも支払いがない者に対しては、速やかに法的措置(債権差押)への移行を図る ・破産などで免責を受けたもの、相続人不存在のもの、相続人存否不明のもの、所在不明者に対して引き続き債権放棄へに向けた手続きを進める。また、他都市の債権管理条例も参考にしながら徴収困難な債権については債権放棄の実施に向けた取組みを進める。
令和8年度の実績
【現年度】 未収金の発生を未然に防ぐため、以下の取組みをおこなった。 ・即決和解申出者に対し和解期日までの毎月の収納状況を管理し、滞納額を増やさないために電話及び文書による督促を実施。また、即決和解当日不出頭者には、翌月に取消通知を発送。 ・損害金の発生を抑制する観点から、明渡訴訟移行前に出来るだけ即決和解の手続きに誘導する取組みを実施。(令和8年度3月末時点即決和解申出件数:179件) ・住宅明渡の判決確定者に対し単純に強制執行を待つだけでなく、訪問員による現地訪問を実施し早期の自主退去を促し、損害金の発生を抑制する取組みの実施。 ・強制執行について、執行補助業者と連携し、判決から断行までの期間短縮。
令和8年度の実績
【課題】 ・損害金がある滞納者については、強制執行により退去した者が多数を占めるため、所在不明者の割合が高い。また所在が判明したもののについても、支払意欲がないものが多い。 【改善策】 ・所在不明者については、定期的な住民票再取得など転居先の把握に努め、督促の糸口を掴めるように努める。 ・所在判明者については、少額で年数がかかろうとも支払いをするように交渉し、委託業者に引き継ぐ。 ・他都市の債権管理条例も参考にしながら、法的リスク審査、弁護士相談等を行い、徴収困難な債権については債権放棄の実施に向けた取組みを進める。

未収金目標及び具体取組内容調書

所属	建設局	担当・事業所名	下水道部調整課経企企画担当	債権整理番号(3ケタ)	001	債権区分	強制徴収公債権	債権名	下水道使用料
----	-----	---------	---------------	-------------	-----	------	---------	-----	--------

1. 令和7年度の目標(＝未収金残高目標)の達成状況 … いずれかの記号を入力

過年度	A	現年度	B1	合計(過年度＋現年度)	A	「A」…目標達成、「B1」…取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」…取組みを予定通り実施できず目標も未達、「－」…当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定
-----	---	-----	----	-------------	---	---

2. 未収金の推移(実績及び目標) … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)

	過年度分									現年度分						合計				
	前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高	
	ア ＝前年度ケ"	イ ＝ア－ウ ▲＝増加を表す)	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ＋ウ	ク ＝カ＋ア	ケ ＝ウ－(エ＋オ)	ウ'	エ'	オ'	カ' ＝エ'＋オ'	キ' ＝エ'＋ウ'	ク' ＝カ'＋ウ'	ケ' ＝ウ'－ (エ'＋オ')	キ'' ＝(エ＋エ') ÷(ウ＋ウ')	ク'' ＝(カ＋カ') ÷(ア＋ウ')	ケ'' ＝ケ＋ケ'	
A	令和6年度 当初目標	170,751	0	170,751	104,158	6,862	111,020	61.0%	65.0%	59,731	39,959,535	39,839,656	0	39,839,656	99.7%	99.7%	119,879	99.5%	99.6%	179,610
B	令和6年度 修正目標	169,708	0	169,708	114,723	8,275	122,998	67.6%	72.5%	46,710	40,671,054	40,549,041	0	40,549,041	99.7%	99.7%	122,013	99.6%	99.6%	168,723
C	令和6年度 実績	169,708	0	169,708	118,763	9,629	128,392	70.0%	75.7%	41,316	41,299,019	41,168,928	0	41,168,928	99.7%	99.7%	130,091	99.6%	99.6%	171,407
D	令和7年度 計画※	179,610	0	179,610	113,154	7,543	120,697	63.0%	67.2%	58,913	39,559,939	39,443,233	0	39,443,233	99.7%	99.7%	116,706	99.5%	99.6%	175,619
E	令和7年度 目標	171,407	0	171,407	114,328	6,622	120,950	66.7%	70.6%	50,457	38,472,195	38,356,778	0	38,356,778	99.7%	99.7%	115,417	99.6%	99.6%	165,874
F	令和7年度 実績	171,407	0	171,407	123,333	7,230	130,563	72.0%	76.2%	40,844	38,721,965	38,605,197	0	38,605,197	99.7%	99.7%	116,768	99.6%	99.6%	157,612
G	令和8年度 計画※	175,619	0	175,619	111,518	7,375	118,893	63.5%	67.7%	56,726	38,768,740	38,654,368	0	38,654,368	99.7%	99.7%	114,372	99.5%	99.6%	171,098
H	令和8年度 目標	157,612	0	157,612	110,171	6,736	116,907	69.9%	74.2%	40,705	42,095,821	41,969,534	0	41,969,534	99.7%	99.7%	126,287	99.6%	99.6%	166,992
I	令和9年度 計画※	171,098	0	171,098	109,502	7,186	116,688	64.0%	68.2%	54,410	38,381,052	38,267,824	0	38,267,824	99.7%	99.7%	113,228	99.5%	99.6%	167,638

※「新・市政改革プラン」の期間(令和6～9年度)に合わせて設定した「中期目標」の達成に向けて、各所属で策定した年度毎の計画

3. 令和7年度の実績・課題・改善策など

令和7年度の実績
1 建設局徴収分 ・滞納処分の停止(26,183調定) ・預金照会件数の増(520件→1,183件) ・関係部署(水道局・財政局など)との連携 2 水道局委任徴収分 ・水道局と情報共有をはかるため、収納対策会議を四半期ごとに開催し、未収金対策、大口滞納案件の事務等について意見交換を行った。 ・毎月、水道局から大口滞納案件リストを送付してもらい収納状況について確認を行い、水道局へ情報提供を求め随時移管が必要な案件はないか、支払いの滞りはないか確認を行った。 ・委任徴収中の大口滞納案件1件について、時効援用の申し出に伴い、建設局へ移管し、所在及び財産調査を実施し滞納処分の停止を行った。
課題と改善策
【課題】 ・エネルギーなどの物価高騰による、新たな滞納事象の発生の懸念。 【改善策】 ・初期滞納の段階での水道局との更なる情報共有、連携強化を行う。 ・水道局委任徴収分においては、給水停止の実施を最大限に活用する。 ・外部研修受講後の、内部研修による職員の滞納処分スキル向上をはかる。

4. 令和8年度の実績・課題・改善策など

未収金の解消に向けた取組
・1 建設局徴収分 ・初期滞納者への来電・文書による督促強化 ・支払いの意思がない滞納者への滞納処分 ・無資力者、所在不明者、少額滞納者等の滞納処分の停止 2 水道局委任徴収分 ・水道局と情報共有をはかるための更なる連携強化 ・委任徴収中の徴収困難案件について、共同督促を実施
未収金の発生抑制に向けた取組
・口座振替勧奨(約100件×2回)

未収金目標及び具体取組内容調書

所属	大阪港鴻局	担当・事業所名	開発部管財課	債権整理番号(3ケタ)	006	債権区分	私債権	債権名	土地賃貸料(延滞金含む)
----	-------	---------	--------	-------------	-----	------	-----	-----	--------------

1. 令和7年度の目標(＝未収金残高目標)の達成状況 … いずれかの記号を入力

過年度	B1	現年度	B1	合計(過年度＋現年度)	B1	「A」…目標達成、「B1」…取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」…取組みを予定通り実施できず目標も未達、「－」…当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定
-----	----	-----	----	-------------	----	---

2. 未収金の推移(実績及び目標) … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)																				
		過年度分								現年度分							合計			
前年度からの 調定繰越額		年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高	
ア ＝前年度ケ"		イ ＝ア－ウ ▲＝増加を表す)	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ＋ウ	ク ＝カ＋ア	ケ ＝ウ－(エ＋オ)	ウ'	エ'	オ'	カ' ＝エ'＋オ'	キ' ＝エ'＋ウ'	ク' ＝カ'＋ウ'	ケ' ＝ウ'－ (エ'＋オ')	キ" ＝(エ＋エ') ÷(ウ＋ウ')	ク" ＝(カ＋カ') ÷(ア＋ウ')	ケ" ＝ケ＋ケ'	
A	令和6年度 当初目標	139,785	0	139,785	748	0	748	0.5%	0.5%	139,037	5,198,869	5,198,869	0	5,198,869	100.0%	100.0%	0	97.4%	97.4%	139,037
B	令和6年度 修正目標	141,105	0	141,105	1,353	5,197	6,550	1.0%	4.6%	134,555	5,414,671	5,414,671	0	5,414,671	100.0%	100.0%	0	97.5%	97.6%	134,555
C	令和6年度 実績	141,105	0	141,105	1,046	5,197	6,243	0.7%	4.4%	134,862	5,187,568	5,185,698	231	5,185,929	100.0%	100.0%	1,639	97.3%	97.4%	136,501
D	令和7年度 計画※	139,037	0	139,037	233	5,197	5,430	0.2%	3.9%	133,607	5,198,869	5,198,869	0	5,198,869	100.0%	100.0%	0	97.4%	97.5%	133,607
E	令和7年度 目標	136,501	1	136,500	3,075	0	3,076	2.3%	2.3%	133,425	5,009,342	5,009,342	0	5,009,342	100.0%	100.0%	0	97.4%	97.4%	133,425
F	令和7年度 実績	136,501	0	136,501	1,799	0	1,799	1.3%	1.3%	134,702	5,040,226	5,038,975	0	5,038,975	100.0%	100.0%	1,251	97.4%	97.4%	135,953
G	令和8年度 計画※	133,607	0	133,607	233	0	233	0.2%	0.2%	133,374	5,198,869	5,198,869	0	5,198,869	100.0%	100.0%	0	97.5%	97.5%	133,374
H	令和8年度 目標	135,953	0	135,953	1,594	0	1,594	1.2%	1.2%	134,359	5,030,720	5,030,720	0	5,030,720	100.0%	100.0%	0	97.4%	97.4%	134,359
I	令和9年度 計画※	133,374	0	133,374	233	0	233	0.2%	0.2%	133,141	5,198,869	5,198,869	0	5,198,869	100.0%	100.0%	0	97.5%	97.5%	133,141

※「新・市政改革プラン」の期間(令和6～9年度)に合わせて設定した「中期目標」の達成に向けて、各所属で策定した年度毎の計画

3. 令和7年度を取組実績・課題・改善策など

令和7年度を取組実績
・回収見込の少ない案件についても、戸籍謄本の公用請求や預金調査、定期的な架電等それぞれの状況に合わせた対応を行った。 ・賃貸借契約の続いている者については、滞納が判明してから速やかに架電し、接触を試みた。滞納者との交渉がうまくいかない場合は、連帯保証人への連絡を行った。 ・滞納が続いている案件について債権回収アドバイザーへの相談を行った。
課題と改善策
【課題】 ・賃貸借契約の続いている者について、経済的困窮を理由に、賃貸料が納入期限までに納入されなかった。
【改善策】 ・賃貸借契約の続いている者が滞納した場合、速やかに電話連絡ならびに訪問し、納入の催促を行うとともに連帯保証人に対して賃料の納入を求めていく。

4. 令和8年度を取組内容 … 「1. 令和7年度の目標(＝未収金残高目標)の達成状況」及び「3. 令和7年度を取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

未収金の解消に向けた取組
・賃貸借契約の続いている者については、滞納が判明してから速やかに架電し、接触を試みる。滞納者との交渉がうまくいかない場合は、連帯保証人への連絡を行う。 ・回収見込のない債権について、必要に応じ弁護士へ相談を行う。
未収金の発生抑制に向けた取組
・賃貸借契約中の者について、引き続き、滞納が判明してから速やかに納付勧奨を行う。

未収金目標及び具体取組内容調書

所属	大阪港湾局	担当・事業所名	開発部管財課	債権整理番号(3ケタ)	007	債権区分	私債権	債権名	土地賃貸料相当損害金等
----	-------	---------	--------	-------------	-----	------	-----	-----	-------------

1. 令和7年度の目標(＝未収金残高目標)の達成状況 … いずれかの記号を入力

過年度	B1	現年度	B1	合計(過年度＋現年度)	B1	「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず目標も未達、「－」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定
-----	----	-----	----	-------------	----	---

2. 未収金の推移(実績及び目標) … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)

	過年度分									現年度分							合計			
	前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高	
	ア ＝前年度ケ [※]	イ ＝ア－ウ ▲＝増加を表す	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ(エ＋オ)	ウ [*]	エ [*]	オ [*]	カ [*] ＝エ [*] ＋オ [*]	キ [*] ＝エ [*] ÷ウ [*]	ク [*] ＝カ [*] ÷ウ [*]	ケ [*] ＝ウ [*] － (エ [*] ＋オ [*])	キ [※] ＝(エ＋エ [*]) ÷(ウ＋ウ [*])	ク [※] ＝(カ＋カ [*]) ÷(ア＋ウ [*])	ケ [※] ＝ケ＋ケ [*]	
A	令和6年度 当初目標	82,377	0	82,377	151	0	151	0.2%	0.2%	82,226	0	0	0	0	－	－	0	0.2%	0.2%	82,226
B	令和6年度 修正目標	82,543	0	82,543	27	5,789	5,816	0.0%	7.0%	76,727	8,165	8,165	0	8,165	100.0%	100.0%	0	9.0%	15.4%	76,727
C	令和6年度 実績	82,543	0	82,543	6	5,790	5,796	0.0%	7.0%	76,747	42,054	29,788	12,259	42,047	70.8%	100.0%	7	23.9%	38.4%	76,754
D	令和7年度 計画※	82,226	0	82,226	0	5,789	5,789	0.0%	7.0%	76,437	0	0	0	0	－	－	0	0.0%	7.0%	76,437
E	令和7年度 目標	76,754	0	76,754	229	0	229	0.3%	0.3%	76,525	7,129	7,129	0	7,129	100.0%	100.0%	0	8.8%	8.8%	76,525
F	令和7年度 実績	76,754	0	76,754	173	0	173	0.2%	0.2%	76,581	28,504	28,498	0	28,498	100.0%	100.0%	6	27.2%	27.2%	76,587
G	令和8年度 計画※	76,437	0	76,437	0	0	0	0.0%	0.0%	76,437	0	0	0	0	－	－	0	0.0%	0.0%	76,437
H	令和8年度 目標	76,587	0	76,587	61	0	61	0.1%	0.1%	76,526	7,222	7,222	0	7,222	100.0%	100.0%	0	8.7%	8.7%	76,526
I	令和9年度 計画※	76,437	0	76,437	0	0	0	0.0%	0.0%	76,437	0	0	0	0	－	－	0	0.0%	0.0%	76,437

※「新・市政改革プラン」の期間(令和6～9年度)に合わせて設定した「中期目標」の達成に向けて、各所属で策定した年度毎の計画

3. 令和7年度を取組実績・課題・改善策など

令和7年度を取組実績
・回収見込の少ない案件についても、不動産の公用請求や預金調査、定期的な架電等それぞれの状況に合わせた対応を行った。 ・履行延期の特約の締結に向けた協議が整わない者について、市債権回収アドバイザー弁護士への相談を行った。
課題と改善策
【課題】 ・履行延期の特約を結ぶ予定だった者について、経済的困窮や就労状況の不安定を理由に、交渉が次年度以降に引き延ばしとなった。
【改善策】 ・履行延期の特約を結ぶ場合は、粘り強く納付交渉を行い、交渉中であっても時効が進行しないよう、少なくとも年に一度は一括での請求を行う。

4. 令和8年度を取組内容 … 「1. 令和7年度の目標(＝未収金残高目標)の達成状況」及び「3. 令和7年度を取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

未収金の解消に向けた取組
・履行延期の特約の締結に向けた協議が整わない者について、定期的に連絡し、納付勧奨を行う。
未収金の発生抑制に向けた取組
・現年度の未収金は発生した場合は、速やかに納付勧奨を行う。

未収金目標及び具体取組内容調書

所属	水道局	担当・事業所名	水道局総務部お客さまサービス課	債権整理番号(3ケタ)	001	債権区分	私債権	債権名	給水料
----	-----	---------	-----------------	-------------	-----	------	-----	-----	-----

1. 令和7年度の目標（＝未収金残高目標）の達成状況 … いずれかの記号を入力

過年度	B1	現年度	B1	合計(過年度＋現年度)	B1	「A」…目標達成、「B1」…取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」…取組みを予定通り実施できず目標も未達、「－」…当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定
-----	----	-----	----	-------------	----	---

2. 未収金の推移（実績及び目標） … 色付け箇所のみ、百四単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

過年度分										現年度分							合計		
前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高		調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
ア ＝前年度ケ	イ ＝ア－ウ ▲＝増加を表す	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ＋ウ	ク ＝カ＋ア	ケ ＝ウ－(エ＋オ)		ウ*	エ*	オ*	カ* ＝エ*＋オ*	キ* ＝エ*＋ウ*	ク* ＝カ*＋ウ*	ケ* ＝ウ*－ (エ*＋オ*)	キ** ＝(エ＋エ*) ÷(ウ＋ウ*)	ク** ＝(カ＋カ*) ÷(ア＋ウ*)	ケ** ＝ケ＋ケ*
A 令和6年度 当初目標	110,263	0	110,263	58,550	13,893	72,443	53.1%	65.7%	37,820	60,555,120	60,486,087	0	60,486,087	99.9%	99.9%	69,033	99.8%	99.8%	106,853
B 令和6年度 修正目標	111,409	0	111,409	58,158	9,915	69,073	53.1%	62.0%	42,336	62,426,880	62,364,453	0	62,364,453	99.9%	99.9%	62,427	99.8%	99.8%	104,763
C 令和6年度 実績	111,409	▲2,197	113,606	47,338	12,196	57,337	41.7%	51.5%	54,072	64,167,695	64,088,174	0	64,088,174	99.9%	99.9%	79,521	99.8%	99.8%	133,593
D 令和7年度 計画※	106,853	0	106,853	56,739	13,463	70,202	53.1%	65.7%	36,651	60,280,000	60,213,692	0	60,213,692	99.9%	99.9%	66,308	99.8%	99.8%	102,959
E 令和7年度 目標	133,593	0	133,593	70,938	12,558	83,496	53.1%	62.5%	50,097	63,637,648	63,574,010	0	63,574,010	99.9%	99.9%	63,638	99.8%	99.8%	113,735
F 令和7年度 実績	133,593	▲1,588	135,181	66,318	10,170	74,900	49.1%	56.1%	58,693	65,332,527	65,259,801	1	65,259,802	99.9%	99.9%	72,725	99.8%	99.8%	131,418
G 令和8年度 計画※	102,959	0	102,959	54,671	12,973	67,644	53.1%	65.7%	35,315	59,180,000	59,114,902	0	59,114,902	99.9%	99.9%	65,098	99.8%	99.8%	100,413
H 令和8年度 目標	131,418	0	131,418	71,111	11,564	82,675	54.1%	62.9%	48,743	66,613,458	66,546,844	0	66,546,844	99.9%	99.9%	66,614	99.8%	99.8%	115,357
I 令和9年度 計画※	100,413	0	100,413	53,319	12,652	65,971	53.1%	65.7%	34,442	58,850,000	58,785,265	0	58,785,265	99.9%	99.9%	64,735	99.8%	99.8%	99,177

※「新・市政改革プラン」の期間(令和6～9年度)に合わせて設定した「中期目標」の達成に向けて、各所属で策定した年度毎の計画

3. 令和7年度の実績・課題・改善策など

令和7年度の実績
①受託業者との定例会については、各事業所単位及びお客様サービス課において毎月継続的に実施し、取組内容及び実績への反映を確認している。 ②給水停止の執行が困難な案件については、個別状況に応じて支払督促等の法的措置も視野に入れた督促を継続的に実施し、未収金の消滅に取り組んでいる。 ③未収金回収特別チームの取扱案件から北部営業担当(東部)へ移管。長期かつ高額案件に係る未収金回収に取り組んでいる。 ④建設局との定例会を四半期ごとに継続して開催。 ⑤住民票調査及び法務局調査について、対象案件の発生時に迅速かつ適切に実施し、債務者の所在及び資産状況の的確な把握に努めている。 ⑥旧使用場所における料金未納を理由とした新使用場所の給水停止の実績は、お客さまに対して予告通知を行った件数が189件、その内92件は給水停止に至らず全額回収となり、残りの97件は給水停止を執行して全額回収となっている。 ⑦滞納整理担当係長会及び受託業者との定例会において、時効更新措置(督促記録の徹底及び債務の承認確認書の取得)の重要性を改めて周知した。高額滞納案件の対応状況を個別に確認し、必要に応じて受託業者に対し指示を行った。
課題と改善策
【課題】 ・法的措置の実施基準が曖昧なことから、適切な判断に時間を要している。 ・高額、長期案件の管理の徹底。 ・未収金回収特別チームの取扱案件については、北部営業担当(東部)へ移管後も未収金回収に取り組ませるとともに、随時進捗確認を実施し、状況把握および管理の徹底を図る。 【改善策】 ・法的措置、調査の基準や業務フローの明確化。 ・高額案件の重点管理(定期確認)。 ・指示事項の「期限・担当者」を明確化。

4. 令和8年度の実績・課題・改善策など

未収金の解消に向けた取組
①未納整理業務受託業者に対して、業務の適正な履行を確保するとともに、徴収率向上に向けた適時の指導・監督を徹底し、成果重視の取組と優良事例の共有を通じて、業務品質の向上・底上げを図る。 ②給水停止の執行が困難な高額・長期滞納案件については、支払督促・少額訴訟等の法的措置を積極的かつ計画的に実施する。 ③建設局との定期的な担当者会議の開催により情報共有の強化を図るとともに、徴収困難案件については未収金回収の促進に向け、必要に応じて共同督促を実施する。 ④住民票調査および法務局調査については、対象案件発生時に迅速かつ適切に実施し、債務者の所在および資産状況を含む、法的措置・回収対応に必要な情報の的確な把握に努める。 ⑤旧使用場所における料金未納者が市内転居した場合には、新使用場所での給水停止を確実に実施するとともに、予告段階から納付促進を強化し、未収金回収と抑止効果の向上を図る。 ⑥滞納整理担当係長会および受託業者との定例会において、時効更新措置(督促記録の徹底および債務承認確認書の取得)の重要性を改めて周知するとともに、高額滞納案件の対応状況を個別に確認し、必要に応じて受託業者へ指示を行うことで、債務承認確認書の確実な取得をはじめとした適正な時効管理および回収効果性の向上に努める。
未収金の発生抑制に向けた取組
・上記の取組を継続する。 ・高額・難航案件は個別に進捗を確認しつつ、新規未収金の発生抑制に努める。 ・口座振替等の普及率向上に向けた取り組みを推進する。

未収金目標及び具体取組内容調査

所属	教育委員会事務局	担当・事業所名	学校運営支援センター学務担当	債権整理番号(3ケタ)	002	債権区分	私債権	債権名	学校給食費
----	----------	---------	----------------	-------------	-----	------	-----	-----	-------

1. 令和7年度の目標（＝未収金残高目標）の達成状況 … いずれかの記号を入力

過年度	B1	現年度	A	合計(過年度＋現年度)	B1	「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず目標も未達、「－」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定
-----	----	-----	---	-------------	----	---

2. 未収金の推移（実績及び目標） … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)

	過年度分									現年度分							合計			
	前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高	
	ア ＝前年度ケ [*]	イ ＝ア－ウ ▲＝増加を表す	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ＋ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ÷(エ＋オ)	ウ [*]	エ [*]	オ [*]	カ [*] ＝エ [*] ＋オ [*]	キ [*] ＝エ [*] ÷ウ [*]	ク [*] ＝カ [*] ÷ウ [*]	ケ [*] ＝ウ [*] ÷ (エ [*] ＋オ [*])	キ [*] ＝(エ＋エ [*]) ÷(ウ＋ウ [*])	ク [*] ＝(カ＋カ [*]) ÷(ア＋ウ [*])	ケ [*] ＝ケ＋ケ [*]	
A	令和6年度 当初目標	94,058	0	94,058	12,887	0	12,887	13.7%	13.7%	81,171	2,597,847	2,597,840	0	2,597,840	100.0%	100.0%	7	97.0%	97.0%	81,178
B	令和6年度 修正目標	97,291	0	97,291	13,329	325	13,654	13.7%	14.0%	83,637	2,597,847	2,597,847	0	2,597,847	100.0%	100.0%	0	96.9%	96.9%	83,637
C	令和6年度 実績	97,291	0	97,291	7,282	325	7,607	7.5%	7.8%	89,684	2,377,226	2,377,226	0	2,377,226	100.0%	100.0%	0	96.4%	96.4%	89,684
D	令和7年度 計画※	81,178	0	81,178	11,121	741	11,862	13.7%	14.6%	69,316	2,597,847	2,597,847	0	2,597,847	100.0%	100.0%	0	97.4%	97.4%	69,316
E	令和7年度 目標	89,684	0	89,684	8,430	0	8,430	9.4%	9.4%	81,254	2,640,462	2,640,462	0	2,640,462	100.0%	100.0%	0	97.0%	97.0%	81,254
F	令和7年度 実績	89,684	0	89,684	6,264	158	6,422	7.0%	7.2%	83,262	2,300,287	2,300,287	0	2,300,287	100.0%	100.0%	0	96.5%	96.5%	83,262
G	令和8年度 計画※	69,316	0	69,316	9,496	0	9,496	13.7%	13.7%	59,820	2,597,847	2,597,847	0	2,597,847	100.0%	100.0%	0	97.8%	97.8%	59,820
H	令和8年度 目標	83,262	0	83,262	6,036	36,827	42,863	7.2%	51.5%	40,399				0	－	－	0	7.2%	51.5%	40,399
I	令和9年度 計画※	59,820	0	59,820	8,195	0	8,195	13.7%	13.7%	51,625	2,597,847	2,597,847	0	2,597,847	100.0%	100.0%	0	98.1%	98.1%	51,625

※「新・市政改革プラン」の期間(令和6～9年度)に合わせて設定した「中期目標」の達成に向けて、各所属で策定した年度毎の計画

3. 令和7年度の実績・課題・改善策など

令和7年度の実績
・各学校と連携し、過年度債権について分納誓約など債務承認を得ることにより時効到来日の延期を図っている。 ・催告等の納付書を送付する際にペイジーの利用案内と多言語での案内文を同封し、納付勧奨を強めた。 ・電話による催告を実施する際も、日中に連絡が取れない債務者に対し、夜間に電話したことにより納付に繋がったケースもあるもので、引き続き取り組んだ。 ・コロナウィルス蔓延以降停止していた訪問催告(384件)を実施した。 ・時効を迎えた債権で回収困難なものについて債権放棄を進めるべく、モラルハザードを考慮の上、債権放棄をするための条件整備や実施時期について検討し、債権放棄(3件・157,571円)を行った。
課題と改善策
【課題】 ・未納者の中には再三の催告に対して、分納誓約書の提出や連絡もなく納付意思を示さないケースもある。 ・最新の住所を調査し、現地調査を行っても居所不明となっているケースがある。 ・ ・ ・ 【改善策】 ・「令和8年度の実績内容による」 ・ ・

4. 令和8年度の実績内容 … 「1. 令和7年度の目標(＝未収金残高目標)の達成状況」及び「3. 令和7年度の実績内容の検証など」の内容を踏まえて記載

未収金の解消に向けた取組
・各学校と連携し、過年度債権について分納誓約など債務承認を得ることにより時効到来日の延期を図る。 ・催告等の納付書を送付する際にペイジーの利用案内と多言語での案内文を同封する。 ・催告による納付がなく電話連絡の取れない場合などに対して、現地訪問の取り組みを強化し、直接、保護者等と納付交渉を行う。 ・再三の催告にも反応せず納付意思を示さない未納者に対しての法的措置については、税務調査等で財産確認を行いながら、引き続き実施をしていく。 ・回収困難な債権について債権放棄を進めるべく、モラルハザードを考慮の上、債権放棄をするための条件整備や実施時期について検討する。 ・令和7年度の実績内容を継続し、債権回収を目指すとともに、新たに個別事案に分類して回収不能債権整理計画により可能な債権から順次不能欠損処理を行う。
未収金の発生抑制に向けた取組
・学校給食費の実質無償化を実施しているため新規未納は発生しない。 ・ ・

